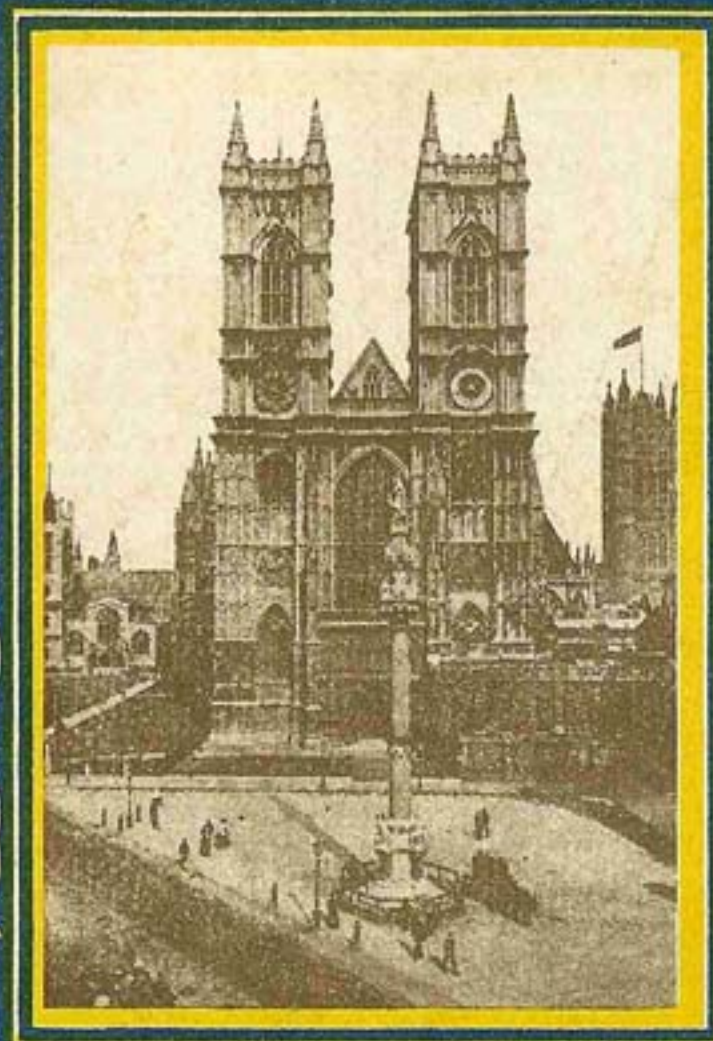
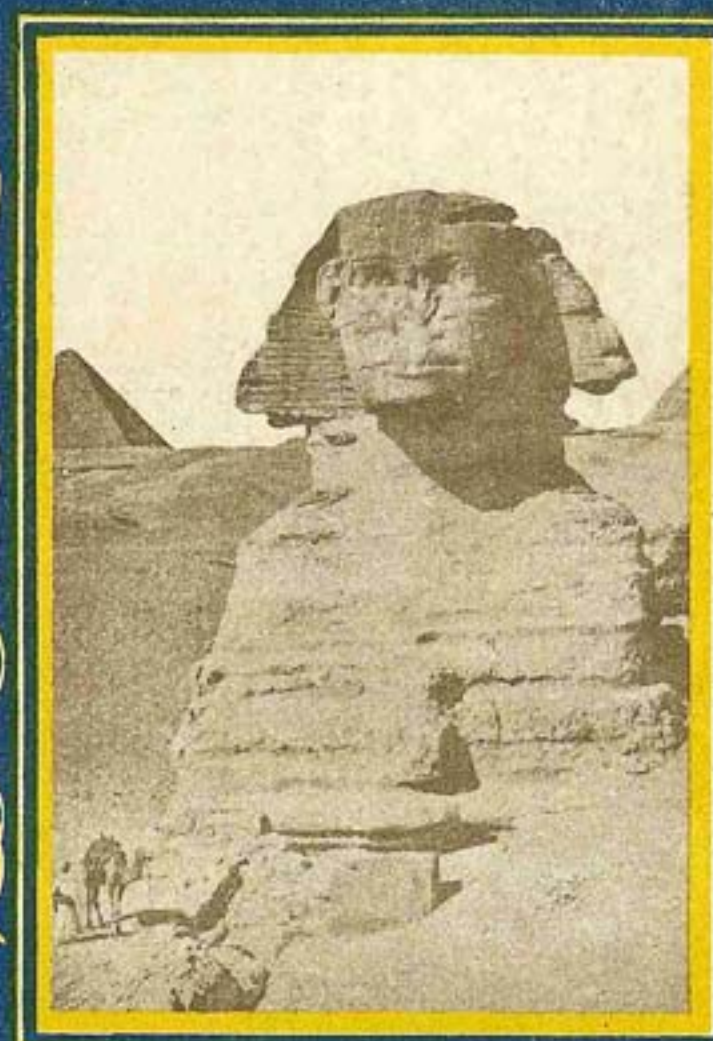


內案歐渡



船郵本日

內案歐渡



船郵本日

渡航案内

(此の案内記事中心、料金額数字其の他事、項は時々變更することあり)

(旅券) 出願手續 海外に御旅行の方は必ず旅行券を用意なさる必要があり、旅券を得る手續は旅券下附願に戸籍謄本(三箇月以内のもの)並に本人の寫眞(半身、手札形、臺紙なし二葉)を添へ、最寄の地方官廳を経て外務省へ申請するのであります。願書の書式は一定してゐませんからその詳細は各所屬の府縣廳に直接御尋ね下さい。旅券の有効期間は下附の當日より六箇月であつて若しその期間經過後、渡航なさるには再び出願せねばなりません。

(旅券査證) 旅券が下附になればそれを出發地又は港に駐在する目的國の領事館に持参して一定の料金を支拂ひ旅券の査證を受けねばなりません。御渡航の目的が官用であると私用であるとを問はず本人自ら出頭して査證を受けるのが原則であります。領事館によつて其取扱規定が違ひ、或る領事館に於ては一定の申請書に姓名、職業、國籍、旅行目的地、旅行の目的等を記入して提出を要します。

(携帶品) 旅行中の衣類其他の御携帶品はそれぞれ、旅行の範圍、目的及び季節などに依つて違ひますが、旅行中は一般に塵埃を浴びることが多いから衣類帽子は黒味が、つたものが適當であります。襦衣其他の物品は航海中の必要品を除いては成る可く渡航後求めらるゝ方が宜敷うございませす。此の航路中、香港から蘇士に至る區間は殆んど全部熱帶圈内に屬し氣候は四季共に我が國の眞夏と同じ位ですから旅客は常に夏の仕度が必要であります。

旅馴れた人は手荷物を極度に減少します。

西洋人は數百哩の旅行をする時でも、單に「スウィート、ケース」一個、外に手提革靴一個、外套一着位を携帶する位ですから萬事簡便で經濟的であります。故に成るべく手輕に旅行する準備が肝要です。

禮服は是非入用の方もありませんが、勉めて平民的に旅行なさる場合には「モーニング、コート」とスモーキング、ジャケツト位をお持ちになれば充分です。手荷物は大きな「トランク」一個と別に「スウィート、ケース」一個位に止め「トランク」は手荷物運搬者に委託し「スウィート、ケース」には日常使用用品を納めて御自身携帶せらるゝが宜敷うございませす。

(携帶金) 旅行中、大金を現金で持ちになるのは甚だ不便且つ危険でありますから正金銀行其他外國に支店又は代理店のある確實な銀行の信用狀又は巡回信用狀に取組んで持参、上陸後現金と引換える方が安全です。尤も各寄港地で所要の小金は邦貨で持ちになり必要に應じて汽船入港と共に乗船する兩替屋又は其他で兩替なさるのが便利であります。

(各寄港地の通貨) は次の通りです。

上海 主として墨西哥銀、詳細は後段「上海」の項に記してあります。
香港 香港銀(約壹圓)を單位とし百分の一が一仙であります。
新嘉坡、馬拉加、彼南 海峡植民地銀(一弗は約一圓二拾八錢)
古倫母 「ルービー」百「セント」(「ルービー」は約七拾六錢)

但印度内地では本位貨は古倫母と同様ですが補助貨は十二「パイ」一「アンナ」とし十六「アンナ」を「ルービー」とします。
埃及磅 「百」ピアストル(「リラ」は約九圓九拾錢)

佛國 「フランク」百「サンチム」(「フランク」は約拾七錢)
英國 磅 二十志(磅は約十圓九十四錢)

右日本貨換算相場(大正十三年五月現在)は時々變動を免れません。

(船内の服裝) 船内の服裝は便利の點からも又國際的である點からも洋服が最も適當であります。若し和服を着用せらるゝ時は男子は袴を婦人は「ペデコート」(Petticoat)と「ストッキングス」を併用せらるゝ事をお勧め致します。晚餐には更衣するが一般の慣習であります。殊に一等食堂に於ては男子は大抵「スモーキングジャケット」「タキシード」を着用されます。

(乗船申込の時期) 船室の用意は成るべく早くお申込を願ひます。殊に毎年二月から五六月頃迄は船客が非常に輻輳する時期でありますから御注文は出来るだけ前廣に願ひます。當社に於ては船床約束の際には先づ豫約金として乗船貨の四分の一を申受け出帆前相當の日時に於て殘餘運賃の御拂込を受けて後切符を發行致します。

(御留守宅に發着通知) 本航路各寄港地發着毎に本店に電報が参りますから當社は直ちに之を歐洲方面行船客の御留守宅に御通知致します。故に船客が切符を求めらるゝ際其通知先所書を所定の用紙に御書留願ふ事になつてをります。

(香港以東諸港間他船乗換の便) 横濱、神戸、上海、香港間には當會社米國線濠洲線上海線等諸航路の船便が多くありますから外國往來の船客は右區間何船に乗船せらるゝも御隨意であります。但しお乗換になる場合船床準備其他の手續に就ては前以て御乗船地の當會社支店にお打合せを願ひます。

(内地鐵道無料乗車の便) 我國と上海以西諸港間往來の一二等船客が内地諸港間を海路の代りに鐵道に依りたいと希望せらるゝ時は別に汽車賃の支拂を要せず本船又は乗車地支店に於て横濱(又は東京)神戸、門司、長崎間の一部又は全部に對し鐵道乗車券を發行し手荷物は無賃制限に限り目的地迄無料で船便運送します。但し通行稅急行車及び寢臺車料金は船客の御自辯であります。本乗車券の有効期限は六ヶ月であります。船客が本券の發行を受けられた時は其の乗車地で直ちに上陸し又鐵道旅行を終つて社船に乗込まるゝ場合には其出帆前二時間以内でなければなりません。

(低廉なる日支巡遊券) 渡航區間に横濱上海間(又は上海横濱間)一等乗船切符を所持せらるゝ歐洲線便通船客で、該區間を社船に依らず陸路鐵道に依り日本朝鮮南滿洲支那を巡遊せんと望まれる方に對して其陸行起點である横濱又は上海支店で日支巡遊券を發賣致します。本券は前記以外の船客には一切發賣致しません。

但し社船不乘區間に對する貨銀は拂戻致しません代りに本券貨金中當社にて幾分を負担し左記割引貨金を頂きます。又本券發賣後日本諸港間の一部を鐵道に依らず社船に依らるゝ時は別に乗船切符を御購入を願ひます。

(甲) 浦口經由。横濱—下關—釜山—安東—奉天—天津—濟南府—南京

浦口—上海(横濱又は櫻木町東京間、宮島嚴島間、天津北京間の往復を含む)

貨金 大人百六十圓 小兒(四歳以上十二歳未満)八十圓
有効期間 發行日共三箇月

(乙) 漢口經由。横濱北京間は甲と同じく、北京より京漢線にて漢口に

出ます、而して漢口上海間は日清汽船會社船に依るのです。
 貨金 大人百九十圓 小兒(四歳以上十二歳未満) 九十五圓
 有効期間 發行日共三箇月
 本貨金には急行料金を含んでゐますが寢臺料金、特別座席料金は別にお
 支拂願ひます。

歐洲航路豫定航海日數及距離

寄港地	自横濱	碇泊日數	自横濱距離
横濱	初日	二日	三五〇哩
神戶	二日	一日	五九〇哩
門司	五日	一日	一、一四〇哩
上海	八日	二日	一、九七〇哩
香港	一三日	一日	三、四一〇哩
新嘉坡	一九日	一日	三、五三〇哩
馬拉加	二一日	一日	三、八〇〇哩
彼南	二二日	一日	五、〇八〇哩
古倫	二七日	一日	八、四八〇哩
蘇土	三九日	數時間	八、五六八哩
坡西	三九日	一日	一〇、〇八三哩
馬耳	四五日	一日	一二、一〇三哩
倫敦	五二日	一日	一二、二八八哩
安士府	六四日	一日	

寄港地案内

本航路船は隔週木曜日午前十時横濱鰐船岸を解纜し翌金曜日午後神戸に到着、同地を日曜日正午出帆門司を経て上海向け抜錨致します、旅客は茲に故國に名残を惜しみながら又内地最終の風光を賞でながら世界的旅行に入らるることになります。

上海

門司を出發して航行する事二晝夜乃至一晝夜半で揚子江口に達します、それから江を遡ること約四十哩、吳淞港を過ぎて支流の黃浦江に入ります、上海は吳淞から十二哩溯つた所の北岸、一望限りない曠野の中に在り、北緯三十一度十分、東經百廿一度廿分、門司を距る五百五十哩の所に位してゐます、氣候は寒暑共に稍々酷しく所謂大陸的であります、往時は滬城と稱し又戰國時代には春申君の居城でありましたので一名申城とも申します、もと徴々たる一小村に過ぎませんでした、千八百四十三年阿片戦争の結果南京條約に基き廣東、厦門、福州及び寧波と共に開港せらるるに至つて諸外國人は競ふて此處に集り終に今日の繁榮を來しました、今や商業

の旺盛なることは支那通商港中第一位を占め、出入船舶の多いこと實に東洋に於いて第二に位し香港に次いでゐます、其の貿易年額凡そ五億五千万海關兩に上り全支那貿易額の四割を超え人口約百萬以上もあります。

現今上海の市街は共同租界、佛租界及び城内の三區に分たれてゐます、此外に元米租界の北隣に甯北、縣城の東南隣に南市、黃浦江の東岸に浦東があつて皆上海の部落をなしてゐます、在留日本人の大部分は共同租界内の元米租界に居住し、其の數凡そ二万で實に在留外國人中の第一位に在ります、之を以ても我が國と此の地との關係如何に密接なるかを知らることが出来ませう。上海の行政は各租界の自治で支那政府の主權から獨立した一つの共和國の様な状態にあり、其の政治的地位の特異なることは世界に其類例がありません。我在留民は帝國總領事と居留民團の支配下にあると共に又租界市會の決議にも拘束されてゐます。

(通貨) 支那の貨幣は混沌として更に統一した制度なく、外國鑄造支那各省鑄造及私鑄の貨幣が並び用ひられてゐます、従つて贋造貨幣が少なからず流通し其の識別には旅客の最も困難を感じらるる所であり、爲替相場場の如きは固より騰落常なく在上海帝國電信局は毎日日本貨幣との兩替價格を局内に揭示してゐる様な次第であります、以下記す所は上海通貨の大要であります。

銀貨 壹元(又壹圓若くは一弗と呼ぶ) 即ち普通墨哥弗又は墨銀と稱するもので又鷹の印がある爲め支那人は鷹洋と呼び又大洋とも申します、外に支那政府鑄造の之と同型なる民國紀念洋と稱する袁世凱の肖像を鑄たるもの盛に流通し其の外北洋又は龍洋と稱するものが流通しますが其流通額は大したものでなく且つ墨銀に對して二分の打分があります。貳角(二十仙)壹角(十仙)此小銀貨を小洋と云ひます、そして其十角即ち百仙は一弗に通用しませんが、相場に變動があります、凡そ十一角五、六仙を以て一弗とします、而して上海に通用する小洋は江南、湖北、廣東、江西及安徽五省の鑄造に限られてゐます。

銅貨 十文(一仙) 各省鑄造のものが行はれてゐますが之亦十枚を以て一角に通用致しませんが、普通一角に對し十一枚三四厘の割であります。

紙幣 壹文(一厘) 制錢と稱し支那人間小賣の標準貨幣であります、墨銀一弗に付き千三百二十文の割合です。

外國銀行發行の兌換券が六七種あります、普通一弗、五弗、十弗、二十弗、五十弗及び百弗の六種があつて墨銀と同一の信用があります、尙支那銀行發行の紙幣があります、之は巨額の取引に用ひられませんが、

以上は普通上海に流通する貨幣であります、元來支那には兩と稱する空稱銀本位がありまして價格の標準となつてゐます、即ち卸賣其の他の大取引、税金、外國爲替等は皆之に據るのであります、そして其上海通用銀は所謂上海馬蹄銀(九八規銀又は上海規銀とも稱す)で重量百兩に對し幣價九十八兩と規定せられてゐます、兩には貨幣稱呼と秤量上の稱呼があります。



上海南京路

（郵便）

シントン條約に基き在支外國郵便局は大正十一年限り撤廢せられ電信以外一切の郵便事務は支那郵便局にて取扱ふこととなりました。

（郵税）日本及支那内地宛封書三仙、葉書一仙五厘

（電信）日本電信局は天津路一號にあり日本宛に限り和文電報を取扱ひます、宛宛を一語に付き一語と見做し又本文片

假名七字を一語と見做し最低三語分を課せられます、一語の料金は一定しませんが大抵二十仙乃至三十仙の間であります、歐文電報は時々料金の變更がありますが大凡次の通であります。

一語につき

三十仙

宛名も語數に準じ同じ單價で

十八仙

拂はればなりません。

日本
北京、天津及芝罘
香港

（關稅）旅客携帯の衣類、手廻品及び左記無稅品を除く外輸出入品に對して一率從價五分の稅金を課せられます。

（無稅品）穀物、穀粉、金銀塊、金銀貨幣、地圖及海圖、書籍、新聞及雜誌類、相當數量を超えざる商品見本等

絹物類に對しては輸出稅がかかります。

武器彈藥類の輸入は一個でも特許を受けなければなりません。

釘付箱物類等は手荷物として携帶上陸出来ません。

船客は上陸前各自所有の手荷物明細を一定の様式に認めて稅關へ申告せればなりません、此の申告用紙は本船内で差上げます。

（乗物）通船（サンパン）本船對岸間一人に付十仙、日没後の乗用は危險であります。尤も本船と稅關波止場の間は時間を定めて小蒸汽を往復させますから成るべくそれを御用ひなさる事を御勸め申します。

人力車（ゴム輪）一哩毎に廿仙、一時間以内四十仙、次後一時間毎に二十仙

體を通じて走る事が出來ぬ規定ですから乗車の時豫め車體の背面に三個の鐵札があるかないかを點檢する必要があります。

電車 一區又は二區一等三仙、二等一仙、次後一區毎に一等三仙、二等一仙、三等は支那人用でありまして外國人は一等を使用致します。

馬車 一時間約二弗、半日約五弗、一日約八弗

自働車 一時間四弗乃至五弗

（旅館）日本旅館 豐陽館、勝田館、江星館、朝日館、萬歲館、東和洋行、常盤舍等。宿泊料一等五弗（中食一弗半）二等四弗（中食一弗二十仙）三等三弗（中食一弗）四等二弗（中食七十仙）

西洋旅館 Astor House Hotel, Palace Hotel, Kalee Hotel, Burlington Hotel, Bickerton's Private Hotel. 宿泊料上等食事付一日七弗乃至十二弗

（土産物）絹布類、唐木細工、陶磁器、筆、墨、蓮の實砂糖漬、及び老酒等。

（遊覽所）Band 共同租界を東西に貫流する一小河之を蘇州河と云ひます、其れが黃浦江と合ふ所に架かつてある鐵橋を Garden Bridge と申します、此の橋から黃浦江に沿ふて上り佛租界に到る河岸通を「バンド」又は黃浦灘路と呼び租界中最も美麗な大建築物が並列してゐます、其中間に屹立してゐる時計臺は稅關であります、其前の波止場を稅關波止場と云ひ船客送迎の小蒸汽船は皆此處に發着致します、「ガーデン・ブリッジ」の袂に公園があります、又河岸の芝地には數個の記念碑や銅像があつて明治初年から十數年間日本及び支那に駐劄してゐました英國公使 Sir Harry Parkes 及び支那政府總稅務司でありました Sir Robert Hart の銅像は其の重なるものであります。

上海縣城 稅關波止場から人力車でなら十分餘で行けます、城の東南北の一半は佛租界に屬してゐます、城は楕圓形で舊城壁には大東、小東、大南、小南、西、老北及新北の七つの門がありましたが、革命後、城壁を取り崩し道路を開きましたので交通が自由となり大いに城内の面目を更めました、城内には城隍廟及び湖心亭があつて丁度淺草公園の様で群衆雜沓の巷であります、其附近に小島、象牙細工、玉器、紫檀細工、陶器、骨董、玩具等の店が立ち並んでゐます、支那特有の都市標本として城内は必ず御覽になる價値があります。

南京路 河岸通り「パークス」銅像の立つてゐる所から西に入る電車道が南京路で一般には大馬路と呼びます、内外人の大商店は多く此所に集まり其賑やかなことは東洋第一であります、西端に競馬場があつて毎年春秋二期に競馬を開催します。

四馬路（福州路）大馬路から南へ第三番目の街路であります、茶館、酒樓、戲園、書場等軒を列べた方になれば嫖客が四方から群り來て全市街忽ち不夜城と化し絃歌喧囂熱鬧の巷となります、之亦上海の一名所たるを失ひません。

新公園 共同租界北四川路を北行して達します、上海公園中最も廣大なもので先年極東オリムピック大會の會場であつたので著名であります。

徐家匯 徐家匯は明の神宗萬曆年間に富豪徐氏の創立に係る加特力徐家匯教會堂あり宗教上有名な地であります、教會に附屬してかの有名な天文臺及び孤兒院、博物館等があり許可を受けて參觀することが出來ます、こ

は佛祖界の西方約五哩の所ですが電車の便もあり、途中、李鴻章の祠があつてそこには獨逸「エッセン」の「クルップ」廠より李氏の遺族に贈つたものと云ふ銅像も建つてゐます。

蘇州 蘇州は楓橋夜泊の詩で有名な寒山寺のある所で支那に遊ばるる人で此の古都を訪れないものはありませぬ、上海から汽車で行けば五十四哩約二時間で行けます、日本租界二馬路に月廬旅館があつて案内説明の勞を取ります。

杭州 杭州も蘇州と同様西湖の佳景により古くから世に知られて居り上海より滬杭鐵道により五時間乃至六時間にて行けます。

(海陸聯絡) 吳淞 滬寧鐵道 十二哩 三十分間 一日十數回發車
蘇州 滬寧鐵道 五十四哩 約二時間 一日數回發車
杭州 滬杭鐵道 百十四哩 五時間乃至六時間半 一日三回發車
南京 滬寧鐵道 百九十三哩 六時間乃至八時間 一日四回發車
北京 二路あります。

(イ) 滬寧鐵道(上海南京間) 百九十三哩、津浦鐵道(南京天津間) 六百三十七哩、京奉鐵道(天津北京間) 八十二哩、全部約二晝夜
(ロ) 滬寧鐵道(上海南京間) 百九十三哩、日清汽船(南京漢口間) 四百三哩、京漢鐵道(漢口北京間) 七百五十二哩、全部約四晝夜
大連 大連汽船會社汽船五百五十哩 一晝夜半 每週二回發船
漢口 日清汽船會社 汽船五百八十五哩 每週四回發船

旅客にして若し長江筋一帯の巡遊を試みらるる方は日清汽船會社の汽船に依り吳淞から宜昌まで約一千哩に亘る本支流を凡そ五十日で一巡する事が出来ます。

香港

上海から八百三十哩約二晝夜半ばかり航行しますと香港に着きます、此間の航路には數多の島嶼がありますが特に著しいのは舟山列島であります、又沿岸には著名な港も多くあります、順々に列記しますと温州、三都澳、福州、廈門、汕頭等であり、此邊一帯は又「ジャンク」船の往來織る様で支那沿海特有の一風物たるを失ひませぬ、香港は支那廣東省珠江の江口に横はる約三十平方哩の一小島であります、北緯二十二度十八分、東經百十四度十分分に位し、人口約五十四万(内支那人五十二万英人約四千)を有してゐます、元々一小漁村で又南支那沿岸に跳梁してゐた海賊の巢窟として其の名を知られてゐましたが早くから通商上樞要の地として英國人の着目する所となり千八百四十二年南京條約の結果英領となりました、其後千八百六十年對岸の九龍半島約四平方哩の地を併せ更に千八百九十八年に至り背面約二百七平方哩に亘る地並びに近海の小島に對し九十九箇年の租借權を得て今日に及びました。

本港は二面に山を負ひ港内廣く且つ水深く世界屈指の天然の良港であります、港口が二つあつて日本から行くものは鯉魚門路から入り南方から来る者は「ラマ」海峡より入ります、今船上から本島を眺めると全市が殆んど山陵から成り海岸から山腹に至る迄歐風の大建物が層をなして相重なり洵に其の繁榮を思はせませぬ、又日没後に海上から之を見ますと全市が大「イルミネーション」をなし非常に美觀であります、香港は素と突兀たる

禿山で瘴癘の氣が甚だしかつたのであります、英人が銳意開拓に従事し水道を起し樹木を植えて以て風土を一變し此大都市を現出せしめました、香港は亞熱帯に屬しますが十一月から三月の交は溫度華氏六十度の間を上下し我が内地の春秋の候に同じく四月より六月の間は雨季であります、六月から十月に至る五ヶ月間は暑き最も酷しく七八九月の交は時として颱風に襲はるることがあります、本島の市街は City of Victoria と稱しまして東西に細長く約五哩にも及んでゐます、其の中部には歐米の商館が櫛比し東西の兩端には支那人の商店が鱗立してゐます、邦人で此地に住つてゐる者は凡そ千八百人でありまして吾が總領事館及大會社、銀行支店の多くは海岸波止場の要部に集つてゐます、香港一ヶ年の貿易額は

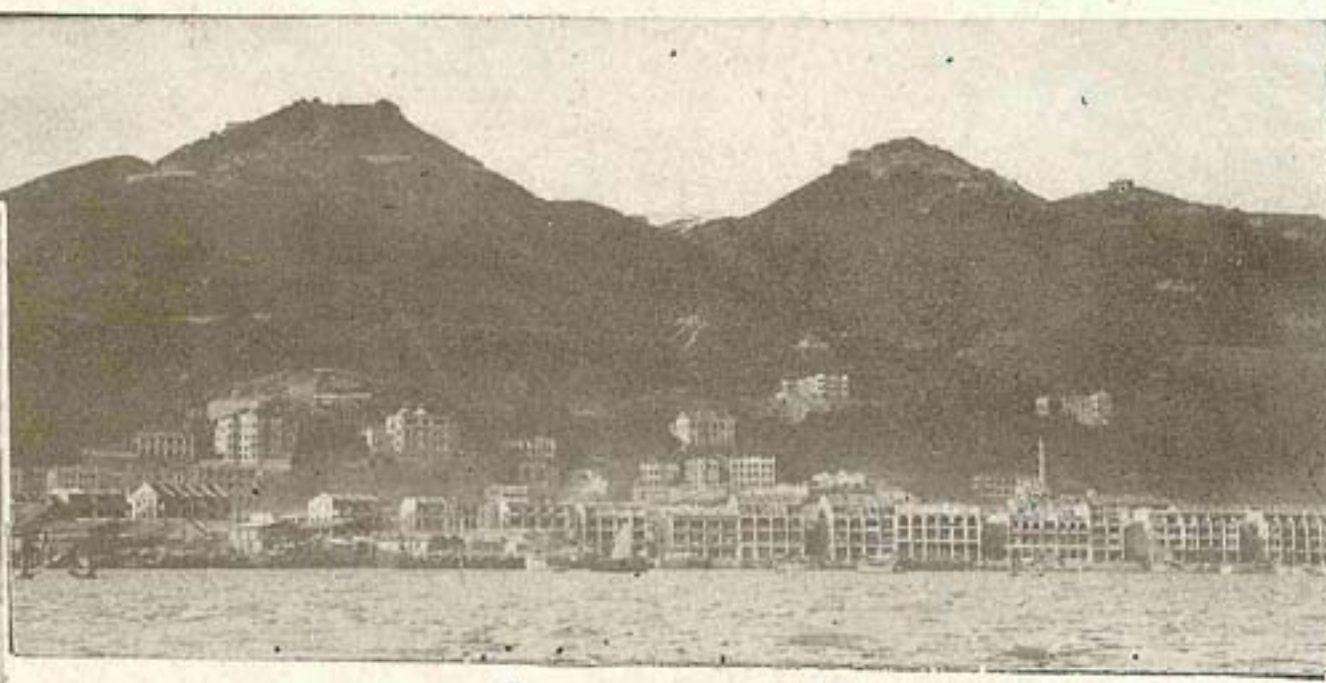
大凡三十億圓以上に上り其の中吾が國との貿易高が約二億圓以上に達します、香港は一人の太守によつて支配せられ其の太守は通常武官から任命せられます、其の下に行政參議會があり、五名の官吏議員及び二名の非官吏議員から成つてゐます、又立法參議會がありまして、八名の官吏議員と六名の非官吏議員とで組織せられてゐます。

(通貨) 上海と同じく墨銀一弗を單位とし其の百分の一を一仙としてあります、通常上海銀よりも高價で爲替相場も亦一上一下して一定しません。

銀貨 香港政廳鑄造の一弗五十仙二十仙十仙及び五仙の五種あります、五十仙以下の小銀貨は皆「香港」の刻印があります、鷹洋一弗貨は政廳鑄造のものと同價格で通用致します。

銅貨 香港政廳鑄造の一仙に限り通用します。
紙幣 一弗、五弗、十弗、五十弗、百弗及び五百弗の紙幣、Hongkong & Shanghai Banking Corporation, Chartered Bank of India, Australia & China,

支那の
船クンヤジ



香港

Mercantile Bank of India の三銀行より發行してゐるものに限り政廳で法貨として認定して居ります。

(郵便) 郵便聯合諸國 十仙 封書 四仙

英國及其植民地及支那

四仙 四仙

廣 港 九

四仙 二仙

(電信)

時々變更がありますが大凡次の通りです。

日 本

通常六十五仙

後廻し三十仙

海峽植民地

同 五十仙

同 二十五仙

馬 尼 刺

同 三十仙

同 十五仙

上 海

同 十八仙

同 十五仙

廣 東

同 九仙

同 十五仙

(關稅)

香港は殆んど自由港と同様であります。が千九百九年以來酒類に對しては輸入税を賦課します、又阿片及び武器彈藥類の取締が嚴重で其の輸入には特別の許可を受けねばなりません。

(乗物)

通船 一時間四十仙、夜間は危險であります。(モーター・ボートは港内浣泊汽船に往復するに便利です、片道一弗二十仙)

九龍渡乗汽船

片道十仙、約十分毎に發着

人力車 五十分五仙、十分間十仙、十五分間十五仙、三十分間二十仙、一時間三十仙、後一時間毎に三十仙増

轎 轎夫二人

平坦路 十分間十仙 十五分間十五仙

半時間二十五仙、一時間三十五仙、後一時間毎に二十五仙増

新 嘉 坡

坂路 十分間十五仙、十五分間二十仙、半時間三十仙、一時間四十仙、後一時間毎に二十五仙増

海 岸

轎夫四人 使用の場合 倍額見當

通 岸

自動車 一時間六弗 乃至八弗

電車

一等十仙 三等五仙

「ピーク」鋼索鐵道

凡そ十分毎に發着、全線片道三十仙

〔旅館〕

日本旅舍 東京ホテル、松原別

館

千歲旅館、宿泊料六弗以上。吉岡旅館、旭館、あづま屋、千代田ホテル、日の出旅館、宿泊料三弗五十仙以上。

西洋旅舍

Hongkong Hotel, King Edward Hotel, Peak Hotel, Astor House, Kowloon Hotel, Repulse Bay Hotel, 宿泊料七弗以上。

〔土産〕

藤椅子、紫檀細工、ジャボン、蜜柑、象牙細工、翡翠の類。

〔遊覽所〕

市街 海岸通りを Connaught Road と申しまして波止場が多數あります、當會社の小蒸汽船は「ブレイキピア」から發着致します、此の波止場から左の方に行きますと一丁ばかりで廣場があり其の中央に「ゲイクトリア」女皇の像があります、其の左にある石造の大きな建築は法院です、帝國總領事館も亦すぐ近くにありますが、「コンノート、ロード」に平行して、電車の通してゐる町を Des Voeux Road と云ひ更に之に平行して Queens Road があります、共に大商店が軒を並べてゐます、以上三つが香港で最も主要な街衢であります。

Victoria Peak

「ブレイキピア」の上陸所から十分ばかりでピーク鋼索鐵道の發着所に着きます、之に乗つて約十分で Victoria Gap と云ふ海抜約一千三百呎の山腹に達します、更に此處より、徒歩若しくは轎に乗つて山嶺の信號所に來ますと高さ海抜一千八百二十呎に及び港内は勿論九龍半島の全景が一望の中に入りその絶景は此の地を過ぐる人の見落すことの出来ない所でありました。ピーク鋼索鐵道山頂終點より山を廻る散歩路あり、一週約二哩、人力車賃八十仙位。



取 採 の 試 験

植物園 山腹に在り、歩いても轎に乗つても十四五分で着きます、規模が大きいと云ふ程ではありませんが各種の美しい草木を蒐めてあり、眺望も亦非常によろしいといひます。

Happy Valley 市の東端に平坦な小さい溪谷があり Happy Valley と呼ばれてゐます、中央に競馬場があり毎年二月競馬を開催し滿都の士女を熱狂せしめます、其の右端の山腹形勝の地に墓地があります。電車で往復約一時間位の行程です。

香港一周 近年香港島を一周する道路が開通して以来自働車で僅か二時間餘りを費すと Aberdeen, Deep Water Bay, Repulse Bay タイムム貯水池等の勝景の地を過ぎ全路二十五哩に亘る變化極りない山水の風光を賞する事が出来、途中の Repulse Bay には香港ホテルの別館があり浪靜かな洋上の小島を望み一憩するには絶好の地であります、自働車五人乗十二弗、六人乗十六弗。

〔海陸聯絡〕

廣東 海路八十哩 Hongkong, Canton & Macao Steamboat Co. の汽船で約八時間、毎日二回發船、船賃一等七弗、往復十二弗。鐵道百十里 一哩約四時間、九龍より毎日數回發車、一等五弗。
澳門 四十五哩 H. C. M. S. Co. 汽船、約三時間半、一等五弗。
仙頭(百七十六哩) 厦門(二百八十五哩) 福州(四百五十六哩) 大阪 商船會社及び Douglas Steamship Co. の汽船毎週凡そ二回發着。
西貢 千六十八哩、佛國エム、エム、會社汽船隔週一回發船。
馬尼刺 六百三十哩、數會社の定期船を合せますと毎週凡そ二回あります、日本郵船會社濠洲航路は四週一回、同北米航路は毎月約一回寄港致します。

新嘉坡

香港を出てから二晝夜程航海しますと初めて右舷に山ばかりの陸地が見えます、是れが佛領交趾支那東南の一角であります、更に數時間航行しますと彼のバルチック艦隊が寄港したので有名な「カムラン」灣沖に來ます、之から船は再度陸岸を離れ南へ南へと進み随つて暑さも加つてきます、香港から航海約五晝夜千四百四十哩を経て新嘉坡に着きます、港の口には緑の小島が多數に點在し宛然吾が松島を見る様であります、新嘉坡は梵語の「シンガプーラ」の訛つたもので獅子の町と云ふ意味だそうです、北緯一度十七分東經百三度五十分赤道から僅かに八十哩馬來半島の南端に位し廣さ二百二十六平方哩の小島であります、其の市街は南東の海岸四哩の地域に亘つて居ます、何しろ赤道圏内ですから温度も高くありますが殆んど毎日沛然たる驟雨が來まして暑熱を洗ひます、殊に十一月から一月までの三ヶ月間は降雨の最も多い時季であります、此地は素と其土地の酋長が明朝に封せられて王となり北京に入朝し、其の後暹羅に併合せられ更に柔佛の酋長によつて統御せられましたが、千八百十九年英國東印度會社から「スマトラ」島及び「ベンクーレン」の知事として派遣せられた Sir Thomas Stamford Raffles が將來此地が必ず樞要の地となる可きを看破して柔佛の朱丹と約束をして一時金六十萬弗と別に二萬四千弗の年金を納れて遂に英國々旗の支配下に置き今日に到りました、本市は海峡植民地の首府であります、海峡植民地は Singapore, Malacca, the Dindings, Province Wellesley, Penang 及び其他

の小さな島々から成り、英本國政府に直隸する所謂王領植民地であります、其の行政制度は大體に於て香港と同様で政府は其全權を一太守に委れてゐます、只異なる點は馬來半島全體を保護國として其の統監を兼攝する事であり、新嘉坡市の人口は約四十萬餘で其人種が極めて複雑であつて丁度世界人種の博覽會見た様であります、大部分は亞細亞人で殊に支那人が多く全人口の約七割を占め然かも其三分の一は福建人であり、言語は一般に馬來語を使用して居ます、土人の宗教は大概回教であります、錫の採掘精鍊と護謨の栽培とは馬來半島の二大産業でありまして新嘉坡の繁

榮も亦此の二事業に負ふ所が甚だ多いのであります、當港の貿易年額は約十億弗に上ります、我が國と當地との關係は近年著しく進歩し殊に歐洲戰時中は邦人の活躍振りが目醒しかつたのですが休戦布告と共に世界經濟界不況の影響を受けて一時挫折の觀があります、併し我同胞の築き上げた基礎は一朝一夕で破壊せらるゝものではありません、新嘉坡は我南洋貿易の樞軸でありまして在留本邦商の勢力の消長は取りもなほさず我國南洋發展の羅針盤とも云ふ事が出来ませう、今や在留同胞は二千五百餘名ありまして全半島在住者を合計しますと五千餘名にも上ると云ふことです、(大正十二年六月末調査による)そして目下我國人護謨栽培業者の租借總面積十四萬八千六百英反、内九萬三千四百餘英反は既に植付を終り之等から一々に產出する護謨は千五百四十四萬封度、之に對する投資額は三千二百七十萬弗に及ぶやうであります。



〔通貨〕 海峡植民地の貨幣制度は所謂銀行本位制で其本位貨幣である銀貨一弗(百仙)に就き英國金貨二志四片と公定標準が規定してあります、故に英貨との爲替相場の変動は少なきも對外爲替は英貨の變動に上下を免れませんが、而して銀貨には一弗五十仙、二十仙、十仙及び五仙があり銅貨には一仙半仙及四分の一仙の諸種類あります、紙幣は政府發行券で十仙、一弗、五弗、十弗、五十弗、百弗、五百弗、及び千弗の八種あります、邦貨との換算割合は目下の所邦貨九十圓に對し海峡貨約百弗に該當しますが時々變動します。

〔乗物〕人力車		馬車	
半哩以内	七仙	半哩以内	二〇仙
一哩以内	六仙	一哩以内	三〇仙
一五十分	四仙	待合せ三十	二〇仙
一増す毎	三弗	分に	



錫蘭島のデンカヘラ祭

き毎日午前十時から午後八時まで開館します。

植物園 博物館

館前の Orchard Road を約二哩程

行くと着きます、各種有用植物の栽培及び蘭科植物室は最も興味があります。

護謨園 邦人の

經營する護謨園は

多く「ジョホール」州にあります、然し碇泊中僅かの時間を利用して之を見るには Yio Chiu Kang Road に在る日新護謨園を見らるゝが便利であります、同園は面積一千英反餘で己に汁液を採取製造してゐます市から約七哩自動車で四十分位で行けます。

「ジョホール」州支那人の所謂柔佛國であつて馬來聯邦の一部で英國の保護下にありますが、新嘉坡と一帯帶水、半島南端に位してゐます、人口約三十萬支那人が其六七割を占めてゐるやうです、近頃此州に護謨栽培を經營する本邦人が次第に多くなつて其名も廣く邦人間に知らるゝ様になりました、又其の首府ジョホール、バルー(Johore Bharu)には公許賭博場があるので以前から知られてゐましたが一九一七年全然閉鎖せられて終ひました、其他王宮、回々教寺院等があつて參觀出來ます、新嘉坡からは汽車が一日數回往復します、一時間ばかりで島の北岸 Woodland に着きます、沿線の風景亦非常によく且つ熱帶植物の栽培と馬來人の一般生活状態とを窺ふことが出來ます、元は「ウッドランド」で連絡の小蒸汽船に乗り十數分間で對岸のジョホール、バルーに着いたのですが、大正十二年十一月一日より兩岸間鐵橋が架設されたので連絡小蒸汽船乗替の不便が無くなりました、ジョホール、バルーは即ちジョホール州の首府で海岸に Johore Hotel があつた。

〔海陸聯絡〕 盤谷 Siam Steam Navigation Co. の汽船にて毎週一回水曜日出帆行程四日間。

スマトラ諸港 K. P. M. (Koninklijke Paketvaart Maatschappij) 社

船毎週一回發航

瓜哇諸港 前同前

英領ボルネオ諸港 Straits Steamship Co. 毎週土曜日發航

馬來半島縱貫鐵道 本船が彼南を出帆するまでの時間を利用して鐵路半島内地を旅行するも一興であります、新嘉坡彼南間四七二哩直行二十四時間汽車賃一等四十弗八十一仙。

馬拉加

新嘉坡から約百二十哩、十時間餘り航行しますと馬拉加に着きます、馬拉加は北緯二度十六分東經百二度十三分、馬拉加海峡の中程に在ります、水の浅い港で大船の碇泊には適しません、今は人口二萬餘の小都市で出入する船舶も亦多くはありませんが馬來半島に於ける歐羅巴人最初の貿易地として、歴史的に大なる

價値を有してゐます、即ち馬拉加の歴史は東洋に於ける葡、蘭、英、三國の勢力消長の歴史に外ならないからであります、馬拉加は第十五世紀末に至る迄は馬來人集散の一要地でありましたが千五百十一年終に當時の海上權力者であつた葡萄牙國の印度總督 Alfonso d' Albuquerque に略取せられ爾來百三十年間葡萄牙人東洋貿易の根據地を爲して居りました、然るに千六百十四年に至り蘭國が葡國に代り此の地を占領し此處に要塞を築いて半島貿易の本營となし只管其の發展に努めました、次で興つた新都市彼南及び新嘉坡の繁榮と共に漸次衰運に傾きました、而して千七百九十五年蘭佛の間に葛藤があつた時一時英國人の手に移り、後千八百十八年「ゲインナ」條約の結果再度蘭國に歸しましたが、更に千八百二十四年英領となりました、現今我國人の此の地に在留するものは百名内外に過ぎませんが、當地より Tampin に於て幹線に接續し新嘉坡彼南及び盤谷に通ずる鐵道があります。

〔遊覽所〕 僅かに數時間の碇泊に過ぎませんが荷揚時間の都合に依つては上陸の餘裕がないでもありません、市内には葡蘭時代の古寺廢墟等今尙遺存してゐるものが尠くありません、若し旅客にして之等の舊跡を訪らるゝならば油然として湧き來る懷古の情を禁ずることが出來ないものがあります。

St. Paul's Church, Albuquerque の建立にかゝる此の教會は海岸の丘上信號所の背後にあり、三百年の星霜風雨を経て今や屋根は落し壁は破れて又舊形を止めない位であります。數個の墓石があるばかりで徒らに雜草のみが繁つてゐます、彼の極東の使徒とまで敬ひ呼ばれた天主教の高僧 Saint Francis Xavier の遺骨も千五百五十三年 Goa に移さるゝまでは此處に葬られてゐたと云ふことで今は銅板に刻して其跡を示してあります。

Cruthams 元の和

蘭總督府で今尙官署の一部として用ひられてゐます其の内に和蘭時代の器具が若干あり一般にも見えます、波止場に隣接する橋梁に向ひ小さな丘の麓に在ります城門 右手に海岸を眺めながら丘の麓を數町周ると其處に和蘭人の造築した城門があります。

彼南

加拉馬

海峽の北端、馬來半島「ケダ」州の海岸に面積約百七平方哩と云ふ小さな島があ



錫蘭島のデンカヘラ祭



古倫母附近のアニアの丘の海岸

ります、之が彼南であります、北緯五度二十四分東經百七十六度一分馬拉加から二百七十六度隔たつてゐます、馬來語で「ベナン」と云へば檳榔子の意味で名の如く檳榔子は本島の名産であります、公稱は Prince of Wales Island といふ、島は丘陵多く一番高いのは二千七百呎あります、氣候は新嘉坡より暑く且乾燥してゐます、船舶の碇泊する所は George Town と云ひ彼南島の首府であります、島の東北に位置して Province Wellesley と相對してゐます、人口約十萬其大部分は支那人で、邦人在留者は凡そ三百名あります。

彼南島は素と暹羅の屬邦「ケダ」國の領土でありましたが英國東印度會社が蘭領馬拉加に對抗して馬來半島に貿易地を獲得せんと千七百八十六年船長 Francis Light の獻策によつて年金六千圓を納れて「ケダ」國から買収しました、後千七百九十八年に其對岸本土の一部をも併せ買収し之れを Province Wellesley と名づけました、港内から其地を眺めると椰子檳榔子が海岸に密生し又錫の精鍊工場があります、千八百二十六年新嘉坡及び馬拉加と併せて海峡植民地を組織し彼南を其の政廳所在地としました、千八百三十七年に新嘉坡に移轉しました、斯様にして會て馬拉加の貿易を奪つた彼南は新嘉坡の興隆と共に又昔日の如く急速の進歩を見る事が出来なくなりましたが現今尙貿易年額約三億萬弗にも達します、新嘉坡と馬拉加とは鐵路相通してゐます、當市海岸に高く聳ゆる白塔の時計臺は即ち鐵道事務所で其の前の棧橋から渡船を出して半島の鐵道に連絡します、(盤谷行鐵道) 先年彼南盤谷間の鐵道が開通し列車は毎週三回ありますが晝間ばかり運轉してゐるので途中 Alor Star, Tungk Song, Chumpon. の三驛で宿泊しなければなりません、兩地間の距離は七百十五哩此旅程四日であります。

〔遊覽所〕 極樂寺 支那の佛寺であります、其結構は人目を驚かす程のものでありませんが、回々數全盛の馬來半島に只一つの佛教巨刹として彼南を通過する者で參詣しない者はありません。院内に參詣者の署名簿が備えてあります、吾が東郷乃木兩將軍の署名は扁額に裝して一室に掲げてあります、波止場から約四哩電車は椰子林の間を走つて凡そ半時間で着きます。

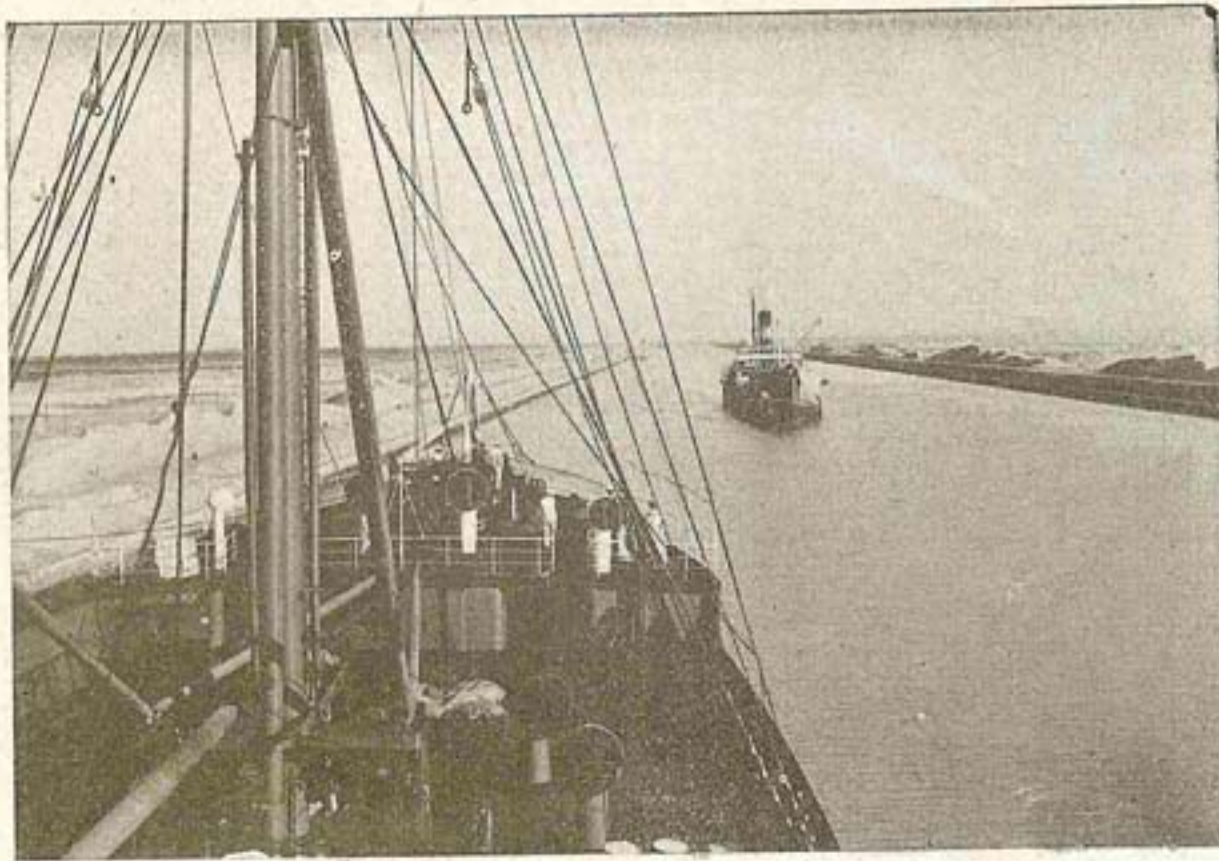
植物園 波止場から約三哩あります、其規模は新嘉坡の其れに及びませんが山腹に在つて天然の景色を利用し、園内に瀑布あり更に一段の風致を添えてゐます時としては野猿が群がつて樹の間に遊んでゐる事があります

蛇寺 波止場から約二哩の所に有名なる「スネーク、テンブル」があります、「スネーク、テンブル」は文字通り蛇寺の意味で普通蛇觀音と呼ばれてゐます、寺は道路より少しく上手の丘上に立ち見るからに鬱陶しき建物で、中には觀音菩薩が祀られてゐます、拜殿の所々に綠色に斑點ある數十匹の蛇が木又は臺にのたれかゝり、實に蛇觀音の稱呼空しくありません。(旅館) 日本旅舎 松屋、朝日館 British Hotel 等

西洋旅舎 Eastern & Oriental Hotel 等

古倫母

彼南から航海を更に二十餘時間續け Malacca Passage に入り入りますと左右に陸地が見えます、左舷に見ゆるのが「スマトラ」島北端 Aden Head と右舷の小島は Pulo Weh であり、離れ Pulo Bras 島を過ぎると船は「ベンガル」灣に入ります、灣内は只一望洋々として眼界際涯なく、飛魚頻りに翔けり時として龍巻を見ることもあります、そして彼南から西航約四晝夜で錫蘭島の南端 Dondra Head に達します、晴天の日には此處から遙かに佛足山を望むことが出来ます、佛足山は普通 Adams Peak と呼び海拔七千三百五十二呎、山頂の岩上に一つの凹所があります、佛教徒は之を釋迦の足跡と云ひ回々教徒は人祖「アダム」の足跡となし、印度教徒は其神經婆の足跡となして三教の信者四時常に登攀し巡禮の跡を絶つたことがありません、之から船は綠樹鬱蒼たる海岸に沿ふて走ること凡そ一百哩で古倫母に着きます着港第一に旅客の眼に映するものは其の規模壯大なる防波堤であります。其の工事は實に十數年の歳月と二千五百万圓の巨費とを要した相です、若し六月から九月の交所謂南西季候風に際會する時には山の様な巨濤が此の防波堤に眞白く碎ける大偉觀に旅客は歡賞の聲を放たずには居られないでせう。錫蘭島は梵語で楞迦島と呼び光輝ある島と云ふ意味ださうであります、面積二万四千七百平方哩我が九州より少し大きい位です、古倫母は即ち此島の首府で島の西岸に位し北緯六度五十七分東經七十九度五十一分、彼南を去ること千三百哩であります、現今二十餘萬の人口があります、其初めは渺たる一寒村に過ぎませんでした、千五百十七年葡萄牙人に略取せられ千六百五十六年和蘭人が之に代り、更に千七百九十六年になつて英領となりました、其の變遷が非常によく馬拉加に似てゐます、唯古倫母は依然として錫蘭島第一の貿易地であり、又印度洋貿易の要衝たる地位を失はず、年と共に益々繁榮してゐます、毎年の貿易額三千百七十萬磅に上り輸出品の主要なものは紅茶、椰子油、コブラ、護膜、黒鉛等であります、元來本島は英領となつた後は珈琲栽培が非常に隆盛を極め全島の繁榮は一に懸つて斯業の如何にあるの觀がありました、千八百六十九年一種の害菌が現れて珈琲樹を侵害して枯死せしめ終に全島に其の被害を及ぼしました、之が爲め商社銀行相繼いで倒産するの慘狀に陥りましたが官民能く協力して善後策を講じ、今度は珈琲を捨て、茶の栽培を始め現今では遂に従前に倍する隆盛を見るに至りました、目下本島紅茶の輸出高は一ヶ年約二億萬斤に上ると云ふことであります、古倫母は熱帯に在るとはいへ十二、一、二の三ヶ月は比較的涼しく氣温も往々七十度を降ることがあります、三、四、五月最も暑く降雨の最も多いのは十月及び十一月であります、本島の人種は多種多様であります、土蕃は Vedda と云ひ山林中に住む最も未開野蕃の種族であります、Sinhalese は當地最初の殖民者で今尙最も



蘇士運河通航

勢力があり全人口の大部分を占めてゐます、其他南印度から移住して来た「Tamil」人があり、亞利比亞から移住して来た「Moors」人があり、南洋から渡つて来た馬來人があります又和蘭人の子孫もあり、然して其を支配する位置に立つ英國人に至つては極少數で一人を出でない位であります、言語は一般に英語が普及してゐます宗教は佛教が最も盛んで全人口の約六割は佛教徒であります、錫蘭島の政治組織は大略香港と同様であります、世人は往々にして本島は印度政府の管轄を受ける様に誤解してゐますが、其實は一個の獨立した英國王領殖民地であります、古倫母には帝國領事が駐在して居ります、邦人の雜貨商を營む者二三、在留邦人十數名に過ぎません。

〔通貨〕 錫蘭島の貨幣制度は海峽植民地と同じく英國金貨を法貨とし其本位である銀貨一留（百仙）に英貨一志四片の價格を保たしてあります、銀貨には壹留（Rupee）五十仙（Cents）二十五仙、及び十仙の四種あり、白銅貨には五仙、銅貨には一仙があります、又政府發行の兌換券は五留、十留、五十留、百留、千留の五種あります、日本の貨幣との換算割合は時々變動を免れませんが一留は約七十六錢に該當し、又一圓は約一留三十二仙に相當します、錫蘭島の本地貨は印度内地と同様であります、十進法により累進します之に反して印度内地の補助貨は十進法に依りません、即ち十二「パイ」（pie）を「アンナ」（Anna）となし十六「アンナ」で一留であります。

〔郵便〕 郵便

聯合國

封書 郵券 一五仙 六仙

英國及び其植民地（印度を除く） 封書 郵券 九仙 六仙

内地及印度 封書 郵券 六仙 三仙

〔電信〕 印度 一留、新嘉坡一留五仙 日本二留十仙

〔關稅〕 旅客攜帶自用の衣類書物等の外平均從價七分五厘の輸入税を課せられます。

〔乗物〕 端艇 波止場本船

間一名二付日中卅五仙乃至五十仙
同夜間 五十仙乃至七十五仙
人力車 半時間未満毎に三十五仙 待時間半時間毎に十仙。古倫母の車夫は旅客に對して不當の賃金を要求し又土人の警官が却つて惡車夫を庇護する等の弊風がありますから止むを得ない時は警察署に同行せられるのが最良の方策です。

馬車 市内半時間七十五仙、最初の一時間一留、爾後一時間毎に五十仙
自働車 市内一哩一留
電車 上等一區十仙 普通一區五仙

〔旅館〕 Galle Face Hotel, Grand Oriental Hotel, Mount Lavinia Hotel, (Mount Lavinia) 宿泊料十五留以上。

〔土産〕 當地の名物として第一に興ぐ可きものは寶石類であります、非常に模造品が多いから注意しなければなりません、其他菩提樹の實の珠簾、黒檀細工の象、山荒の毛の細工物、レース、銀細工等であります。

〔遊覽所〕 Fort「フォート」とは城内の謂であります、今は其の名を存するのみですが、和蘭人占領時代以來城塞のあつた所であり、主なる官公署、商店、會社、銀行等茲に集つてゐます、小さな區域ですから三十分位あれば歩いて一巡することが出来ます、波止場から上陸しますと左の方に

「グイクトリア」女皇の大理石像があり、右端に Grand Oriental Hotel があります、先づ之に添ふて右に曲れば左側に和蘭時代の總督宴會室があります、今は寺院になつてゐますが、更に左に折れると Queen Street に入ります、右側の綠樹の間に隱見する建物は總督官舎で之と向ひ合せて郵便局があります、之から尙進むと四ツ辻があつて其中央に時計臺兼用の燈臺があります。右に曲れば海岸に出て信號所に行きます、眞直に進むと左側に

兵營があり城外に出られます、即ち燈臺に添ふて左に折れ Chatham Street に入り更に折れて York Street の大通りに出ます帝國領事館及び日本郵船會社代理店は此の左側にあります、此の街には古倫母の土産を賣る店が多數あり、其の北の端が波止場であります。

Pettah 此處は城内に隣接し土人の商店の集つてゐる最も繁華な一區であります、波止場から York Street に出て直に左に行く電車に乗るとすぐ「ベタ」區内の Main Street に入ります、「メイン・ストリート」の終點道路の稍廣くなつてゐる所の右端に和蘭時代の鐘樓が一つあります、此邊は各種土人の往來織る様であります、此處で電車を捨て、海岸に併行してゐる Sea Street を數町行くと波羅門教の寺院があります、異様な建築風は一覽の價値があります旅客は再び車に乗り「ベタ」を出て電車終點まで約三哩を往復し行く土人の風俗を観察するのも又一興であります。

Maligakanda 佛寺。錫蘭島の佛教は釋尊入寂後百餘年を経て始めて摩迦陀國の Prince Mahinda に依つて傳へられ爾後千五百年の間興隆を極め其間代々の國王によつて建立された堂塔伽藍は數えきれない位はあります、今其の古都 Anuradhapura（古倫母より一二六哩半）及び Polonnaruwa に於て發掘せられた廢墟を見ますと其の結構の壯大な事は實に埃及の金字塔獅子像に劣らないものがあります、只憾むらくは碇泊時間が僅少で是等の遺跡を遊覽する事が出来ません、古倫母は近世都市で、其の上今日佛教の衰微甚だしいので邦人旅客の參詣に價する様な寺院は殆ど一つもありません、若し強いて其一を挙げますればこの「マリガカンダ」寺院であります、

波止場から約二哩「ヨークストリート」を直進する電車で行けます、電車は湖水に沿って走り風景亦拘すべきものがあります、又寺院所屬の學校があつて「バーリー」語を教えてゐます、「バーリー」語は今日では佛典にのみ用ひらる死語で梵語の俗語であります。

博物館 市の南部「グイクトリア」公園にあります、電車の便がありませんが、人力車又は馬車で行けます、往きか歸りか何れか一方は Challe Tree の海岸に沿って行く方が宜敷うございませう、此の海岸通路は平坦なる事祇の如くで一方に大きな運動場があり、他の一方は澎湃たる印度洋に臨み其の風景の雄大なことは言語に絶してゐます、博物館内には本島各種の産物、古器、美術品、動植物標本等を陳列してあります、又「カンデー」に奉祀してある佛齒の模型があり、又木葉虫 (Leaf Insect) 及び枯枝虫 (Stick Insect) を飼養してゐます、之等虫類は形色共に植物の枝葉に酷似し、保護色彩の著しい實例であります。

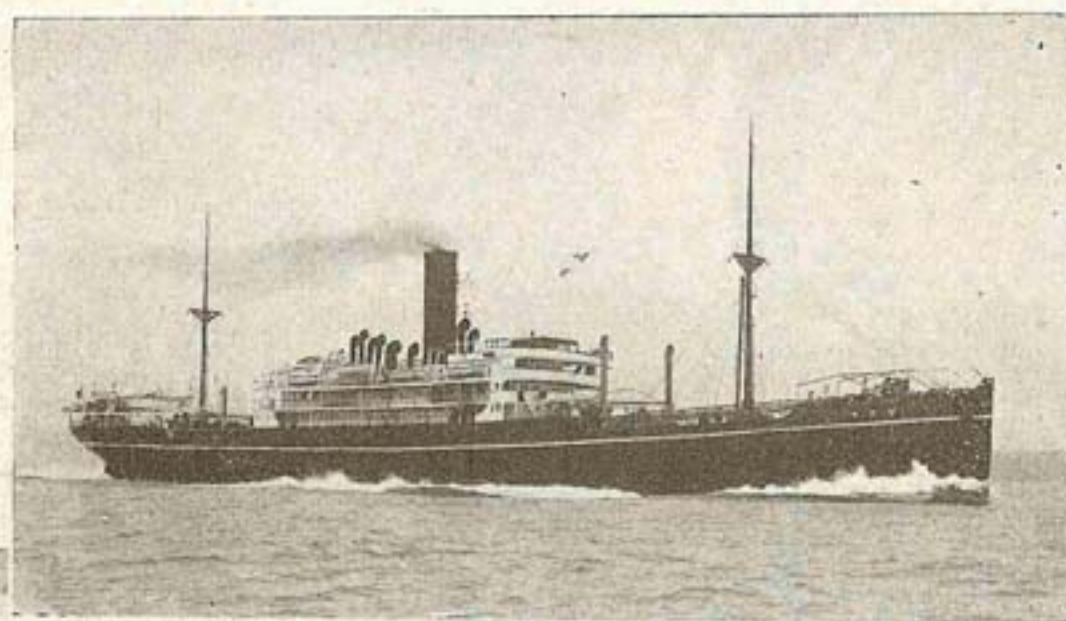
Kandy 及び Peradeniya 植物園 古倫母から約七十哩汽車で凡そ三時間半で行けます、其の沿線は茶園と稻田が相連りて風景絶佳であります、「カンデー」は一八一五年英軍に征服せらるゝまで約二百年間、島首の居城でありました、幽邃なる山間、海拔約二千呎の高地にあり従つて氣温の如きも古倫母より常に五六度低く實に本島隨一の仙境樂園であります、又此地は佛陀の齒を奉祀してある寺があるので特に有名です、「ペラデニア」植物園は「カンデー」から約四哩手前にあり、三方河で圍まれ園内よく整頓し其の美しい事熱帶植物園中稀に見る所であり、船客で若し「カンデー」及び「ペラデニア」植物園を見らるる向は朝早く古倫母を出發し約三時間で遊覽を終り、夕方頃船に歸ることが出来ます、「カンデー」の旅館には Queens Hotel, Firs Hotel, 等があります。

土人の奇習 新嘉坡以來船客が土人の風習中特に珍奇に感ぜられるのは「シリ」云ふものを嚼む奇妙な習慣であります、之は熱帶土人男女一般の嗜好品であつて錫蘭島土人間に特に盛んであります、其製法は蔓草「キンマ」の葉を二三枚重ね其上に練つた石灰と檳榔子の實を焼いた細末とな載せて巻くのであります、之を嚼むと爽快な覺え丁度烟草と同じく常用するに従つて之を止めることが出来なくなるやうです。三種の材料が相混合して紅色を呈するので唇や齒を赤く染め血の様な唾液を吐き他人には甚しく不快な感じを與へます。

〔海陸聯絡〕 孟買 海路 (八百八十六哩航程約三日) 二週一回「ビーオー」會社其他の汽船便があります、又日本郵船會社船毎月二回の定期があります、鐵路 (千四百四十三哩約三日半) 古倫母から Ceylon Government Railway に於て Tahimannar に行き (一百九哩) 渡船で對岸 Dhanush-kodi へ渡り (十一哩) South Indian Railway に接続し Madras に於て Madras & Southern Mahratta Ry. に乗換へ更に Raichur へ Great Indian Peninsular Ry. に乗換へ遂に孟買に到着します、Dhanush-kodi-Madras 間四百十八哩 Madras-Bombay 間七百九十四哩毎夕一回發車します。

亞刺比亞 海及紅海

古倫母から紅海の入口まで約二千二百哩ありますが航路は季節によつて多少違ひます、隨つて以下順を追ふて説く所の島嶼や岬角等も時としては船客の視界に入らないこともあり、又此間は六月から九月までの所謂南西氣候風期間には時として波濤洶湧することがありますが十月か



箱 根 丸

ら五月に亘る北東氣候風季には海上常に平靜で内海を行くのと少しも變りがありません。古倫母を出帆して三十餘時間で Minicoy Island の燈臺を通過します「ミニコイ」島は印度洋に於て赤道邊から北緯七度。東經七十一度より七十四度邊にかけて無數に點在する環狀珊瑚島の一であります、其等の島は椰子濱椰子が繁茂し遠くから見れば直に海中から發生し居るが如く見えます、土人が椰子を栽培し漁業を營んで居住してゐます此近海こそは彼の



エフカ・ダンラベ

有名な「エムデン」並に「ウルフ」の二獨艦が出沒して通航の商船を悩ました所で、我が常陸丸が彼等の毒牙に罹つた遺跡であります、次に來るのが Kokota Island であります、英國の保護領で長さ七十哩幅十八哩、全島殆んど突兀たる岡陵があつて、草木は極めて稀であります、唯其の北岸及び西岸には河流平原があつて、土民が農業及び牧畜を營み、約一萬二千の人口があります、船が本島の南方を通過する時は Abd-ul-kauri 及び Brothers 等の諸島を過ぎ、Cape of Guardafui が左舷に見えます、之れが即ち亞非利加州東端の岬角であります、此處を過ぎると亞丁灣で之を更に一晝夜航行しますと、右舷の水平線上に粲然たる亞丁港を望みながら紅海の入口に達します、此處を Bab-el-Mandeb と呼びます、亞刺比亞語で「涙の瀬戸」と云ふ意味で亞刺比亞人は貿易風に乘じて印度に航海するに當つて、此處に故國と別離の情を忍び此の名をつけたものであるやうです、此海峡は僅かに十四哩にして中央に Perim Island があります、此島も亦波狀の荒地で孟買政廳の管轄に屬してゐます、此地は貯炭地として重要で且つ海底電信が四方に通じ又「ロイド」信號所が設置せられてゐます、通過船は其船名を報告して目的地に電報することが出来ます、南西岸には良港



船内食堂

が一つあります。此島を過ぎて愈々紅海に入ります。

〔紅海〕は延長千二百哩幅員百哩乃至二百哩に及び水深は最大一百尋に達します、随つて其真中頃に於ては陸地が見えませんが併し島嶼及び珊瑚礁が数多點在してゐますから燈臺の設備少くなく、其の多くは埃及、印度、兩政府が經營してゐます紅海は地球上恐らく著熱の最も峻烈な海面でありませう、六月から九月までが

最も甚だしく八月は日陰でも往々百五度に上ることがあります、是れは兩岸沙漠の反射熱と降雨の稀少なのが原因だやうであります、紅海北部一帯は降雨が絶無で且つ兩岸共海に注ぐ河川が一つもありません、或地理學者の計算によると「バベルマンデブ」海峡を百年閉塞するならば紅海は只一つの巨大な鹽塊になつて終ふと云ふことであります、紅海兩岸の著名な二三の港灣を挙げますと東岸に Mokha 及び Jidda があります、前者は珈琲を以て名高く後者は回教の聖地 Mecca から六十哩を隔て巡禮者の上陸地として有名であります、西岸には Port Sudan があります、埃及スダンの要港で將來最も有望な地であります、紅海は其の北端に於て「スエズ」灣及び「アカバ」灣の二つに分れてゐます、船は「スエズ」灣の方へ進航します、同灣は其幅員七哩乃至廿五哩ですから船中からは絶えず兩岸の山坡を望むことが出来ます、右岸遙かに彼の「モーセ」が神から十誡を受けたと云ふ「シナイ」山が見えます、灣内を航行すること約百七十哩で Port Thewik に投錨します。

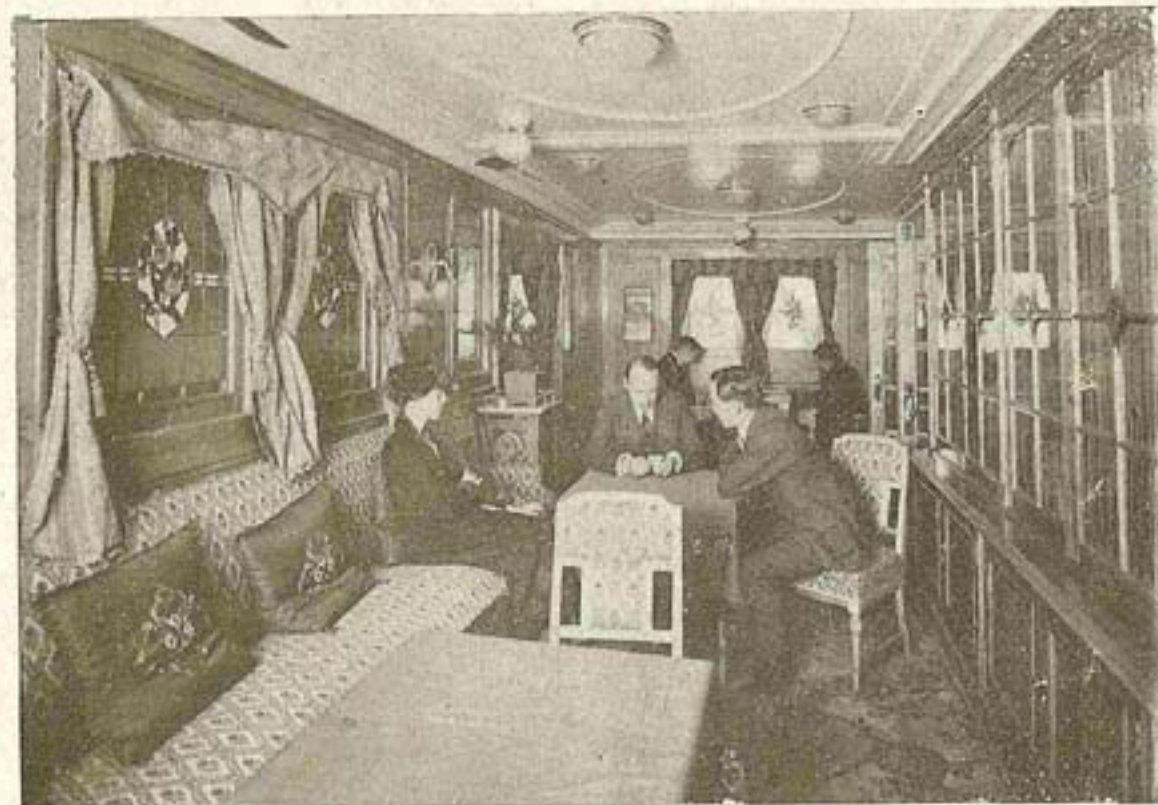
蘇士

蘇士港は「ボート、デッ井フック」の西方約二哩を隔て船中からは遙かに其市街を望見することが出来ます北緯廿九度五十八分東經廿二度五十四分に位し古倫母を距る三千四百哩の所にあります、此處は二千年來埃及の古商市で殊に十六世紀から十八世紀に亘り一時歐印貿易の重要な仲繼市場として段盛を極めました又彼の舊約書に記されてゐる「イスラエル」人紅海渡渉の所は此の邊だつたと伝えられてゐます、現今凡そ二萬の人口があります、此の地から

Canio 及び Port Said に鐵道が通じてゐます、それで本船蘇士入港 Port Said 出帆までの時間を利用して Canio に遊び有名な金字塔スフィンクス其の他を觀て埃及三千年古代文化の跡を尋ねるのも亦一興であります。(Canio 行の汽車は朝夕三回あつて約六時間(百五十九哩)を要します、又「カイロ」から埃及西土への發車も朝夕三回あつて約四時間半(百四十哩)を要します、汽車賃一等約二磅二磅二磅、併し埃及回遊は本船碇泊時間の都合に依つて困難な事もありますから前以て船長と打合せを要します、又出發前旅券にも猶め埃及通過の裏書を受けて置かねばなりません、蘇士碇泊時間は僅少です上陸見物の暇はありません、運河入航の準備が出来次第船は蘇士を出帆します。

蘇士運河 蘇士運河は千八百五十九年に起工し十箇年を費して千八百六十九年(明治二年)に開通致しました、其の工費は約二千四百萬磅を要したと云ふことであります。元來蘇士地峽開鑿の計畫は紀元約六百年前埃及王によつて既に一度試みられ、降つて千七百九十八年大奈翁も亦技師を派遣して踏査せしめた事がありました、地中海と紅海との水準差が三十呎もあると云ふ尙舊な報告を受けて空しく其の企圖を擲擲したと云ふことであります、然も七十年の後奈翁第三世の時其の臣民 Ferdinand de Lesseps が遂に其れに成功したとは奇縁とでも言ひませうか、今是れを千九百十四年開通の巴奈馬運河と比較して見ますと其工事の難易は固より同日の談ではありませんが、當時蘇士運河の開鑿の困難は寧ろ錯綜せる國際關係にあつた様であります

「レセツプ」は夙に此點に着目して資金の如きも自國の外に又英國に於ても之を募集しようとしましたが英國朝野の翼賛を得なかつたのみならず却つて頻りに其妨害を蒙つたと云ふことで、然も運河竣工の晩最も多く之を利用するものは英國船で千九百二十二年通過船總數四千三百四十五艘、噸數二千七百四十三噸中英國船は噸數に於て實に其六割四分を占め



船内應接室

ゐます、蘇士運河の開通は歐亞の航程を實に三千哩乃至四千哩短縮致しました、其の開通により世界の經濟上、軍事上、及び社會上に及ぼした影響の如何は今更ら絮説する必要がありまゝまいが今參考の爲めに其の現状の大略を説明しませう、運河は大小五つの湖水を貫通してゐます、其の湖水の名稱を南から順々に挙げますと Little Bitter, Great Bitter, Timsah, Ballah, 及び Mensaleh であつて、兩岸所々に四五十呎の堤防があつて展望を妨げますが大抵は平地であります、而して其多くは荒寥たる沙漠で大小の砂丘が波狀をなして遠く連なつてゐます、然しながら湖畔は大概綠樹が繁茂し人家が點在したり駱駝が群をなして遊んでゐたりなど風光の拘すべきもの亦尠くありません、運河の延長凡て八十七哩、北端から始めた距離標があつて東岸のは渠、西岸のは基米で示してあります、而して其幅員及び深さは開通以來常に擴張を怠らないので現今は水面の幅員三百二十呎底部平均三十呎あります、又水深は平均廿二呎に達します、而して目下通航船舶の吃水は廿九呎を限度とし又速度は五哩三分の一以上を出すことは許されません、此外通航船舶に對しては種々の規則を設け必ず水先人が乗船して航路を嚮導致します、運河は數區に別ち各區に信號所があります、中央信號所は「テサム」湖畔にある Ismailia に在つて各信號所と連絡を取つて往復船の進退を調整してゐます、通過時間は時の繁閑及び天候の如何に依つて違ひますが平均十六七時間であり、開通當時は平均廿六時間もありましたが、探海燈を使つて夜間の通航を實施してから非常に短縮されました、千八百七十五年英國政府は埃及政府から額面二十萬の運河株券十七萬六千六百二株を四百萬磅で譲り受けましたが今では其價格が約四千六百萬磅で上つてゐると言ふことであります、目下運河は英佛兩國の共同經營で運河通過料は噸數に應じて徴收し尙又客船に對しては更に乗客一名毎に通行料を取り、現在の通過料は一噸に付いて七法五十サンチム船客通行料大人十法小兒五法三歳以下無料であります、千九百二十二年の料金總收入は約一億六千五百萬法でありました、又千八百八十七年國際協約によつて蘇士運河は永久中立地帯である事が宣言されたので平時と戦時とを問はず商船も軍艦も共に通行出來ます、日露戦争當時彼の露國バルチック艦隊の一部二十餘艘が明治三十七年十一月此運河を通過したことは



望遠の上館術美ルーセルマ

初め土は坡西
土西坡
あり所ある
今尙吾人の記
にあり

運河を開鑿する時に、技師等の居住地として開かれたところで、北緯卅一度三分東經卅二度廿五分に位し、横濱からは八千五百九十七哩あります、其名は運河の開鑿を「レセツプス」に許した埃及の太守 (Suez Pasha) から採つたのであります、運河開通以來年と共に其繁盛を加へ今では人口が約七万もあり其の大半は亞刺比亞人であり、此地は世界屈指の貯炭地でありまして寄港船に供給する石炭の年額約百五十萬噸に達します、そして是等の石炭は皆英國から輸入せらるゝものであります、輸出品の主なるものは巻紙煙草及び棉花であります、特に遊覽に適した名勝としては此地にありません、入港第一に御客の目を惹くものは三箇の圓頂を有する石造建築物で之が運河會社事務所であります、上陸して海岸波止場に進み防波堤の上を行きますと「レセツプ」の銅像があります、更に海岸海水浴場を廻つて左に折れると市の中央に出ます、市内には日本製雜貨を商つてゐる店が甚だ多數あります、尙又食料品市場を巡覽せらるゝならば土人の風俗の一端を窺ふことが出來ますが、亞刺比亞既婚婦人が頭部までも黒い布を纏つて只僅かに兩眼を現してゐる異形の扮装は最も珍奇であります、市中には土人の物賣が四方に徘徊して頻りに客を呼んでゐます、然も法外の掛値を唱へて其眞價を知ることが困難でありますから此等の徒輩から物品を買はず必ず大きな店に行つて求めらるゝが安全であります、要するに此地は人情が極めて不良であります、我國の領事館があります。



門旋凱のルーセルマ

【通貨】埃及の本位貨は Egyptian Pound であります、其補助貨及び其比價は次の通りです、併しながら英國貨幣も亦廣く通用してゐますから旅客は必ずしも埃及貨幣に兩替することを要しませんが、英國貨幣を使用しても宜敷うございます。

Egyptian Pound = 100 piastres = 9.916 yen = £ 1.0158-
Piastre = 10 Millimes = 9.916 sen = 2 $\frac{1}{2}$ d.

【郵便】

封書 封書
封書 封書
封書 封書
郵便聯合諸國一、五(三片四)(二片)
封書 封書

英國及其殖民地 (二片半)(二片)

英國及歐洲諸國 普通 後期シ
印度及古倫母 一志 六片
七片 一志

日 本
普通 後期シ
八志 二志
四片

〔乗物〕 端艇 本船波止場間一
人に就き英貨六片日没後は一志
賃金は波止場の通船事務所で支
拂ひ決して直接船頭に支拂つて
はなりません。

自働車及馬車
一時間一人ニ付
以後半時間毎に
一時間五人乗
以後半時間毎に
ハ〇(約二六志)
三〇(約六志)

〔旅館〕 Eastern Exchange Hotel, Casino Palace Hotel, Marina Palace Hotel.

海路 鐵道百四十八哩約四時間半一日三回發車
鐵道二百二十哩 約六時間 一日三回發車 海路百五
十哩約十二時間一週三回發船
海路 Jaffa まで百廿哩約十時間一週三回發船「ヤッファ」
と「エルサレム」間に約五十哩の輕便鐵道があります道
程約四時間餘

〔海陸聯絡〕 Cairo 鐵道百四十八哩約四時間半一日三回發車
鐵道二百二十哩 約六時間 一日三回發車 海路百五
十哩約十二時間一週三回發船

Alexandria 鐵道二百二十哩 約六時間 一日三回發車 海路百五
十哩約十二時間一週三回發船

Jerusalem 海路 Jaffa まで百廿哩約十時間一週三回發船「ヤッファ」
と「エルサレム」間に約五十哩の輕便鐵道があります道
程約四時間餘

陸路 蘇士運河上 Kantara まで Gaza, Ludd, Ramleh,
經由 Jerusalem に至る約十二時間の汽車旅程

地中海

る史跡を本案内記に詳記することは固より不可能のことではありますが船が
一度此の海に入る時必ずや旅客は懷古想今の情に絶え難いものがあり
ませう、彼の歐洲大戰に當つては吾輩歐陸隊の將士が勇戦奮闘した所であ
り我が郵船會社八坂丸遭難の遺跡も偲ばれて感憾無量の中に船は益々西航
します、坡西土から一晝夜半で「クリート」島の南端を過ぎます、更に航行
一晝夜半ばかりで「メッシーナ」海峡に入ります、同海峡の一番狭い所は僅
かに二哩で兩岸の山岡綠美しく人家點々たるのが指呼の内に迫ります、そ
して其の明媚な山容水色が非常に能く我が國に似通ふてゐる爲めに旅客は
坐ろに湧き来る懷郷の念を抑へることが出来なくなりませう、世人が南歐
の美なるを説くのも亦故ありであります、左方は「シシリー」島で「メッシ
ナ」港があります、又地中海の燈臺と云はる、「エトナ」火山は本島の東
端に聳えてゐます、右の方のは伊太利半島の南端で「レシラ」港がありま
す、約四十分間ばかりで海峡を通過し其れから二時間ばかりすると「スト
ロムボリ」島の活火山が右舷船首に見えます、同島は直經八哩の圓錐形の
島で高さ約三千呎、頂上からは何時も黒煙が濛々として中空に立ち昇つて
ゐます、然かも山麓の地味が肥沃で、葡萄酒、棉花等を産出し人口凡そ四
千あります、之から一晝夜程航海すると右に奈翁の生誕地として有名な「コ
ルシカ」島を見、左に「ガバルザー」の誕生地として名高い「サルジニ
ア」島を眺めながら Pontificio 海峡を通過します、更に二百哩餘り航海を
續けて遂に馬耳塞港に着きます、港外には石灰岩よりなつてゐる數個の小
島があります、其の一は彼の「デューマ」の小説「モントクリスト」(黒岩

淚香譯嚴窟王) に依つて有名な牢獄「シャトー・デ・イフ」であります。

馬耳塞

馬耳塞は佛國第一の貿易港で北緯四十三度十七分東經五
度二十五分に位し坡西土からは千五百十五哩あります、
徐々に進む船上から市街を見ますと海岸に平行して長大

な防波堤があります、之を前に控えて大層高樓は參差として連なり旅客は
茲に始めて歐洲大都市の風光に接することが出来ます、海岸近くにある數
個の圓頂の大建築は寺院であります、右の方丘の上に聳えてゐる高い塔は
聖母堂であります、防波堤右端の鐵橋は即ち Transporter Bridge で橋の
上から臺を吊るし電氣を以て運轉し渡舟の代用を致します、港外で水先人
乗船し左端の港口から入港します、港内は數區の繫船場に分れ、日本郵
船會社汽船は No. 8. Section Docks, Bassin de Je Gare Maritime に繋留
します、沿革的に見ると馬耳塞は西歐に於いて最も古い都市でありまして
紀元六百年前小亞細亞に於ける希臘殖民地 Phoenicia 市民によつて創建
せられ後「シーザー」に征服せられて羅馬帝國に屬し爾後幾多の變遷を
經て千四百八十一年に至つて始めて佛領となりました、而して馬耳塞が
今日の如く發達したのは千八百三十年對岸「アルジェリア」國の併合と千
八百六十九年、蘇士運河の開通とに負ふ所が最も多く現今貿易年額が一億
一千萬磅に上つ
てゐます、主な
輸入品は石炭、
穀類、皮革、羊
毛、砂糖、珊瑚
等で輸出品の重
なもの粉類、
油、石鹼等で
あります、人口
は約五十萬で
其約五分の一は
伊太利人である
と云ふことであ
ります、此地は
我國の小樽と略
同緯度に在りま
すが背後に山を
負つてゐる爲め
が寒暑さまで酷
烈でなく甚だ健
康に適してゐま
す、此處には帝
國領事が駐劄し
てゐます。

倫敦の國會議事堂



〔通貨〕

單位 Franc(法)
100 centimes
(サンチーム)で
邦貨約金十七錢

に當ります、金貨に百法五十法四十法二十法及び十法の五種あります銀貨には五法二法一法及び半法の四種あります、白銅貨に二十五サンチーム、十サンチーム、五サンチームの三種、銅貨に十サンチーム及び五サンチームの二種あります、又中央銀行から兌換券を発行し千法、五百法、百法、五十法、二十法、十法、五法の七種あります其他に商業會議所発行の十法及び五十サンチームの小紙幣があります。

〔電信〕

國內	一五(最速)	西班牙	一八	瑞西	一五
白耳義	一五	和蘭	一八、五	英國	二五
獨逸	一八	伊太利	一八	日本	四法一七

〔郵便〕

郵便聯合諸國
内地及植民地

五〇	三〇	二〇
二五	二〇	一〇

×(通信文五字以内の時は十五サンチーム)

〔乗物〕

電車 市内 二五乃至三〇サンチーム
市外 二五乃至六〇サンチーム
馬車 一頭馬車 一時間 十法
二頭馬車 一時間 十二法

〔關稅〕 旅行用具以外の物品は多くは輸入税を課せられます、煙草類は特に嚴重で一キロに付十八法の重税であります、然し旅客に對しては葉卷十本又は紙卷煙草二十本に限り申告の上無税通關を許します、又燐寸は政府の專賣で輸入は禁ぜられてゐます。

〔旅館〕 多數ありますが左に最上及中位のものを一、二紹介致します。

Grand Hotel du Louvre et de la Paix

Regina Hotel, Hotel de Geneve

宿泊料 一日二十五法乃至六十法

〔遊覽所〕 市内市外共に電車が縱横に通してゐますから之を利用して遊覽なさるのが便利且つ經濟であります、然し電車内及び群集の場所には拘模が多いのに注意を要します、又夜間波止場其他通行人の少ない場所を獨りで通行するのは危険であります、市の中央に出るにはドックの門外を走る Les Quais 電車に左に行き終點 Vieux Port に下車するか、又は Les Quais の内側の電車線路に Circulaire Vieux Port の電車に塔に Vieux Port に下車するか、若くは Cannebiere の電車で終點 Cours St Louis に下車するのが便利であります、船に歸るには一度 Vieux Port (舊港) 前に出、Les Quais 又は Circulaire Vieux Port の電車に乗るのが便利、停車場行きは前記 Cannebiere の電車で凱旋門に行きそこで Gare St Charles に乗換えればなりません。

防波堤 Les Quais の電車道に沿ふて右に行きますと左側に中央に小さな噴水のある廣場があります、之を Place de la Joliette と云ひます、其の反對側倉庫の間を進み橋を渡りますと防波堤の上に出ます、堤上は公衆の散歩を許します、其の延長約三哩もあり尙擴張中であり、工役は已に約五十萬法を要したと云ふことです。

Cathedral 波止場の將に盡きんとする所から石段を上ると一つの伽藍があります、之が Cathedral であります、白色及び暗緑色の石材を用ひたネオビザンチン式の建物でありまして毎日午後三時から院内の縱覽を許して

あります。

Vieux Port 舊港は希臘植民時代から殘存するもので其港口の兩側に堡砦を設けてあります、又 Transporter Bridge あり兩岸の交通を便にしてゐます、此の北岸の一區は舊市街で道路が狹隘で且つ汚穢を極めてゐます伊太利人が多く此處に居住してゐます。

Cannebiere 舊港の頭端と直角をなして東に行く大通りを Cannebiere と云ひ馬耳塞第一等の街衢であります、其西端北側の華美な建築物は取引所で階上に商業會議所があります、Cannebiere は電車交叉點 Cours St Louis まで其れからは Rue Noailles であります、之亦前者に劣らない繁華な街です、Cours St Louis を北に(舊港から行つて左)に通してゐる並木道を眞直に進みますと凱旋門に行きます、反對の方角即ち南に眞直に行きますと Promenade de Prado に出ます。

Prado 及び Corniche Prado は市の南部に在つて延長二哩の美しい並木道で馬耳塞市の誇とする所であり、夏の夕方又は冬の日曜日後になりまると全市の綺羅總て此處に集まり樹下の往來絡繹として織るが如き盛觀を呈します、並木は我國で篠懸木と云つてゐるものでありまして最近東京市に於ても之を植栽してゐます、Corniche は市西南の海岸通りでありまして別荘海水浴場が多く灣内を一眸の中に集め風景絶勝の地であります、Cours St Louis の花市のある所から Circulaire Prado 又は Circulaire Corniche の電車に乗りますと前記の兩街路を約一時間で一周する、とが出来、途中に州廳及び法院の前を通ります。

Pare Borely Prado から Corniche に出る左側に大きな公園があります此處に競馬場等があり、又博物館があつて古代美術品を陳列してあります。

Palais de Longchamp Cours St Louis へ Jardin Zoologique の電車で行きます途中に美麗な「フニク」風の寺院があります、Palais de Longchamp は「ルネサンス」風の石造大建築物で、中央に噴水があります、右翼を博物館に當て左翼を美術館としてゐます、月曜と金曜とを除いては毎日午前六時から十二時まで及び午後二時から四時(夏は五時)まで開館します、美術館内にある大階段の兩側に二枚の壁畫があります、一は「希臘植民地の馬耳塞」で今一つは「東の關門馬耳塞」と題します、二つ共 Favis de Chavannes の筆で最も有名であります、其の背後に動物園があります。

Notre-Dame-de-le-Garde 舊港の頭端から (Boulevard Vauban) の電車に乗り途中下車し徒歩約二町で聖母堂行綱索鐵道の下に出ます、綱索鐵道は往復賃約一フランクであります、丘山の眺望眞に絶佳にして近く全市を一眸に集め遠く Gulf of Lyons の長汀曲浦を煙霞の裡に眺むることが出来ます堂上には金色燦爛たる聖母の像があり、參詣の男女が蠟燭を買つて供へること我國のお寺に於けるが如く、又堂内の四壁は船員の奉納した額面で一杯であります、これは我國の社寺に於ける繪馬と同じ意味のものであります。

Chateau d'If 千五百二十九年に築造された城砦であります、後に國事犯囚の牢獄として用ひられました、數多の志士佳人が此處に幽閉せられたと云はれて居ります、而して彼の「ヂューマ」の名著「モント、クリスト」に依つて特に有名であります、舊港から約二哩夏は遊覽者の爲めに毎日蒸汽船を出します。

ジブラルター海 峽とビスケー湾

馬耳塞を發し「リオン」灣を出て南航約二百五十哩左舷に望む陸地は Minorca, Majorca 及び Ibiza 等の諸島から成つてゐる Balearic 群島であり、此群島も亦古來諸國の爭奪區域でありました。千八百三年に至つて西班牙領に歸しました。「イヴサ」島を過ぎ、Zeno, Palos 及び Gata の岬角を廻り馬耳塞から約七百哩で「ジブラルター」に達します。有名な「ジブラルター」要塞は西班牙の西端に突出するジブラルター岬の尖端にあります。全部石灰岩と板岩とから成り南北に長く約二哩東西の幅約一哩あります。そして頂上まで海拔凡そ千四百呎、自然の險要に加ふるに更に人工を以てしたるものであります。一見眞に難攻不落の金城鐵壁たることが判ります。北方及東方の兩側最も險阻で丁度屏障を立てた様で登ることは殆んど不可能であります。南側は數個の段階をなしてゐます。西側は多少凹凸がありますが此處に兵營及び軍港が築いてあります。此地は素と西班牙の領地でしたが千七百四年以來英國の支配に屬してゐることは人々の普く知る所であります。司令官が立法行政の全權を握つてゐます。人口は駐屯兵を除いて約二萬あります。

「ジブラルター」の南對岸は即ち「モロッコ」國であります。彼の千九百十一年歐洲外交界を聳動せしめた所謂「モロッコ」事件の序幕として千九百五年獨帝の訪問を受けて俄に有名となつた「Tangiers」は「ジブラルター」から僅かに三十哩を隔てた對岸にあります。「ジブラルター」海峽は延長約廿二哩幅員八哩乃至二十四哩あります。要塞の南端 Europa Point から航行約三時間で Cape Trafalgar に着きます。之れ千八百五年十月二十一日「ネルソン」提督が佛國の聯合艦隊を殲滅した所として人々の熟知する所であります。これから南領 Cape St. Vincent まで約十二時間は陸影を見ることが出来ませんが凡そ其中間に方つて西班牙の海岸に Palos 港があります。是十數年間の苦闘空しくせず西班牙女皇「イサベラ」の援助によつて「コロンプス」が三隻の帆船を駛して千四百九十二年八月三日男々しくも新大陸發見の途に上つた所であります。Cape St. Vincent 附近は恰も世界諸大航路の錯交する所であります。船舶の往來常に頻繁であります。之から「リスボン」港沖まで約一百哩あります。更に航行二百五十哩で再度西班牙北高原の一角 Cape Finisterre に達します。是を過ぎると「ビスケー」灣に入ります。「ビスケー」灣は其北端にある「ウシヤン」島まで約三百八十哩ありまして澎湃たる大西洋の怒濤に震蕩せられて時としては船體の動搖することがありますが夏季は大抵平穩であります。「ウシヤン」島を過ぎるともう英吉利海峽にさしかゝります。航行二十餘時間「ドーヴァー」海峽の入口 Dungeness で水先人を乗船せしめます。間もなく「ドーヴァー」軍港の前を過ぎ石灰岩の斷崖を廻つて「デームス」河口に達します。長途の海の旅は漸く終を告げて之からは河を溯ること約四十哩 Charlecut で檢疫を受け進航又約十三哩で船は遂に Victoria Dock に入つて茲に旅客は横濱以來一萬二千六百哩の大航海を終るのであります。愈々倫敦であります。倫敦に附いては其の地に完全な地圖案内記の發刊せらるゝものが少くありませんから茲に敢て蛇足を添ふる事を致しません。

乗船御注意

當會社の汽船に御乗船の方は左の事項を能く御承知願ひます。

◎船客三歳未満一名限り無賃、其の他は四分の一額、十二歳未満半額、満十二歳以上全額運賃を申し受けます（但し五歳未満の小兒に對しては航路によつて運賃の違ふ所も御座います）

◎運賃半額の幼兒二名及び運賃四分一額の小兒四名に對して一個の寢床を差し上げます。

◎前以て船室を約定せらるゝ場合は豫約金として運賃の四分の一額を申受けます。

◎乗船切符を他人に譲渡さるゝことは堅く御斷り致します。且つ其の切符は其の航海限り有効でありますから萬一、御乗船がない時は本船出帆後二十四時間以内に本切符發賣店に御提出ある場合に限り二割五分引を以て買戻致します。

◎中間の寄港地で任意に又は乗遅れ等の爲めに渡航を御中止になつても其から先の未渡航區間運賃は拂戻致しません。

◎本船發着の日時は豫め定めて御座います。天災其の他已を得ざる事故の爲めに出帆を延期し又は途中から引返し若しくは航路を變更し或は代船に御移乗を願ふことがあつても其れが爲めに生ずる費用は當會社では負擔致しません。

◎精神錯亂者、傳染病其の外如何かはいし病氣の方に對して御乗船をお斷り致します。若し御乗船後右様の病者を見出すか又は船内で御發病の場合に船内一般の衛生と安寧に有害と認める場合には已を得ず最近寄港地で御下船をお願ひすることがあります。而して右の場合に於ける諸費用は當社では負擔致しません。尤も御病氣御恢復の上は下船地から更に同一航路の社船で目的地迄の渡航をお取計ひ致します。

◎御手荷物に壹等四十立方呎又は三百五十封度等三十立方呎又は二百五十封度等二十立方呎又は百五十封度等十五立方呎又は百二十封度等十立方呎又は六十斤又は百五十斤等十五立方呎又は百二十斤等十立方呎又は六十斤迄は無賃運送を致しますが右の制限を超過致しますと其の超過に對しては當社で定むる所の超過手荷物運賃を申し受けます。

◎左記の物品は手荷物として御取扱致しませんから豫め御承知願ひます。

(一)家具、商品、蓆包、菰包箱物、形體粗大、荷造粗雑なるもの及び臭氣を發するもの。
(二)寶玉類、金銀、金錢、有價證券、證書類、美術品等の貴重品（但し旅行に必要な程度の金錢及裝身具を除く。）
(三)活動寫眞、フイルム其他爆發性物品。

若し御手荷物に(一)號の諸品が這入つてゐる時は無賃制限に算入せずして當會社所定の超過手荷物運賃表に依つて運賃を申し受けます。又(二)號の諸品が這入つてゐる時は超過手荷物運賃表に依らず貨物として積入れらるゝ高價品運賃率の倍額を申し受けます。

◎手荷物は船客御自身で御保管を願ひます。萬一紛失毀損するものがあつても當會社使用人の惡意又は重大なる過失に原因したことが證明せられない限り當社は損害賠償の責を負ひません。尙此外の事項に就ては別に規定せ

る「手荷物に關する御注意」に據ることと御承知下さい。

◎金銀並に指輪「ブローチ」「ピン」等の高價な装身具は紛失の虞れありま
すから船室内に置かれたい様御注意願います、御希望により事務長が本船
金庫内に御預り致します。

◎船舶の検査海難其他天災不可抗力に起因する直接又は間接の損害に對し
ては當會社は其責に任しません。

◎船客の乗降又は轉乘の場合の船賃手荷物運搬費接續船待合せの滞陸費其
他消毒検査等の爲めに生ずる費用は總て船客の御負擔でございませう。

◎船内で乗船切符を求めらるゝ場合は渡航區間を次の港までとして其の區
間定額運賃一割増の運賃を申受けます、次港以後の區間に對しては支店
又は代理店で本切符をお求め願ひます。

◎乗船後中間寄港地で下船し更に次船で渡航を繼續なされたい方は前以て
乗船地では支店又は代理店に、船中では事務長に其旨御申出しになり切
符に裏書を御請求願ひます。

◎中間港に下船し更に次船に御乗船の節は豫め滞陸地支店又は代理店に船
室用意方御申込みの上御乗船前乗船切符に船名船床の記入をお受け願ひ
ます。

◎船内の安寧と秩序とを保つ爲め定められた當會社の規則は勿論接續汽船
汽車會社の諸規則は必ずお守り願ひます。

前記以外の事項に就いては當會社所定の諸規則に依ることと御承知置願ひ
ます。

○手荷物積卸方

船客手荷物を本船に積込む方法は各港に依り其の取扱が違ひますが左記の
各地では手荷物運搬を專業とするものがありますから切符購求の際當社に
御打合せの上之に委託さるゝが御便利であります、併し當社は其の御紹介
を致しますが一切の責任は運搬業者の負擔であります。

(東京) 東京よりの船客手荷物に對しては規定料金(大小輕重に依り市
内は一個に付二圓乃至三圓市外は三圓乃至四圓)を申し受け船客指定
の場所に引取人を差向け汽車積として横濱本船迄の運搬積込を請負人
に依託する便宜があります。

(横濱) 横濱では客船は大抵岸壁に着きまので直接本船に持ち込む方
が便利であります尤も宿屋組合に赤帽の制度がありますから之に頼ま
るゝのも御便利であります、其料金は本船と櫻木町驛間一箇に付四十
錢乃至八十錢又岸壁繋留船と税關旅具検査場間十五錢乃至二十五錢で
あります、但し百斤又は十才を超ゆるものは斤量三十斤才量四才毎に
二割増です。

(神戸) 神戸に於ける手荷物積卸運搬料金は本船と停車場又は市内との
相互間其の大小に應じ一個に付二十錢乃至七十錢位であります。

(門司) 門司に於ける手荷物積卸運搬料金は本船と門司税關棧橋又は下
の關棧橋との相互間大小輕重に應じ一個に付十五錢乃至四十五錢であ
ります、門司驛と税關棧橋との間は一箇に付十錢であります。

○佛蘭西出入國稅

佛國馬耳塞に御上陸又は馬耳塞より御乗船の御方は佛國政府により左記の
通り税金を課せられます、當社は便宜上御乗船の際之を申受け佛國政府に
納付致します。



日本郵船會社本店

(一)馬耳塞、坡西土相互間御渡航船客各一名に對し
一、二等及び特別三等 二十法 三等五法
(二)馬耳塞蘇士以東諸港相互間御渡航船客各一名に對し
一、二等及び特別三等 三十法 三等五法
(三)馬耳塞倫敦相互間御渡航船客各一名に對し
一、二等及び特別三等 二十法 三等五法
上記税金は馬耳塞以外の諸港に於て御乗船の場合は乗船切符發行當日の爲
替相場に換算して申受けます。

歐洲航路里程表

倫敦	110	425	神戸	394	859
ロタム	ハンバ		長崎	465	
ダム	ーク				上海
ロタム	108	330	馬其塞	1,900	香港
1	安土府	ハンバ	リハーブール		神戸
	ーク				1,375
	安土府		385		上海
	ハンバ				神戸
	ーク				710

神戶	門司	上 海	安土府
1,140	5,700	5,700	385
1,970	1,620	1,380	710
3,410	3,000	2,820	2,270
3,530	3,110	2,940	2,320
3,800	3,400	3,210	2,600
5,000	4,720	4,440	3,940
8,480	8,110	7,810	7,340
8,568	8,218	7,978	7,428
10,033	9,733	9,493	8,943
12,103	11,732	11,513	10,963
12,288	11,938	11,698	11,148
12,600	12,253	12,013	11,463

廣濱

神戶

當社各支店代理店に於て東京海上保險會社に代

門司

長崎

上海

香港

新嘉坡

彼南

古倫母

坡西土

馬耳塞

倫敦

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

安土府

日本郵船株式會社 (Nippon Yusen Kaisha)

東京市麴町區永樂町一丁目一番地（丸ノ内）

船客切符發賣所 (Senkiuku)

東京市丸ノ内郵船ビルディング

電話牛込

特長

三九五一
四八二九
四八二九

五三二〇ヨリ
五三二三マデ

橫濱支店 (Yusen)

（假事務所）根濱市山下町三（大棧橋入口）

電話本局
一一二二
九九八

神戶支店 (Yusen)

神戸市海岸通一丁目外一號及二號

電話三宮
長 長
五
三二
一〇九八
長
三三
三三
四三

大阪支店 (Yusen)

大坂市西區川口町廿四及廿六番地

電話西長 三五 三六 三八 三三 三十二 五

名古屋市中區天

一
三

長崎支店 (Yusen) 長崎市梅香崎町三番地

上海虹口北楊子路第三番月

支店 (Yusen) No. 8, King's Building, Cornhill
At: D1 - No 230, Havelock Road

支店 (Yusen) Alice Bldg., No. 333, Honmy Road,
Yokohama

India.

21 Pacific Place Singapore SINGAPORE
NIPPON (NIPPON) NO. 2 & 3, UVE IOW, CACAWAY

新嘉坡支店 (Nippon)
31, Market Street, Singapore, Ceylon

ニッポン (Nippon) 八多ヒヤ代理店
Sime Darby & Co. Ltd. Majene
Iwoss 1410x 8 33, 1410x 11

Black & Veatch (B&V)
Saflemons

BOULESTAD & CO. LTD., Penang, Straits Settlements.

德南什理店 (Nunyon's) Carson & Co., Colombo, Ceylon

Worms & Co. Suez, Egypt.

Worms & Co., Portland, Egypt.

P. A. Young, Marseilles, France

4, Lloyd's Avenue, London, E.C.

安土有代理店 (Vanommeren) Phs. Van Ommeren, Com

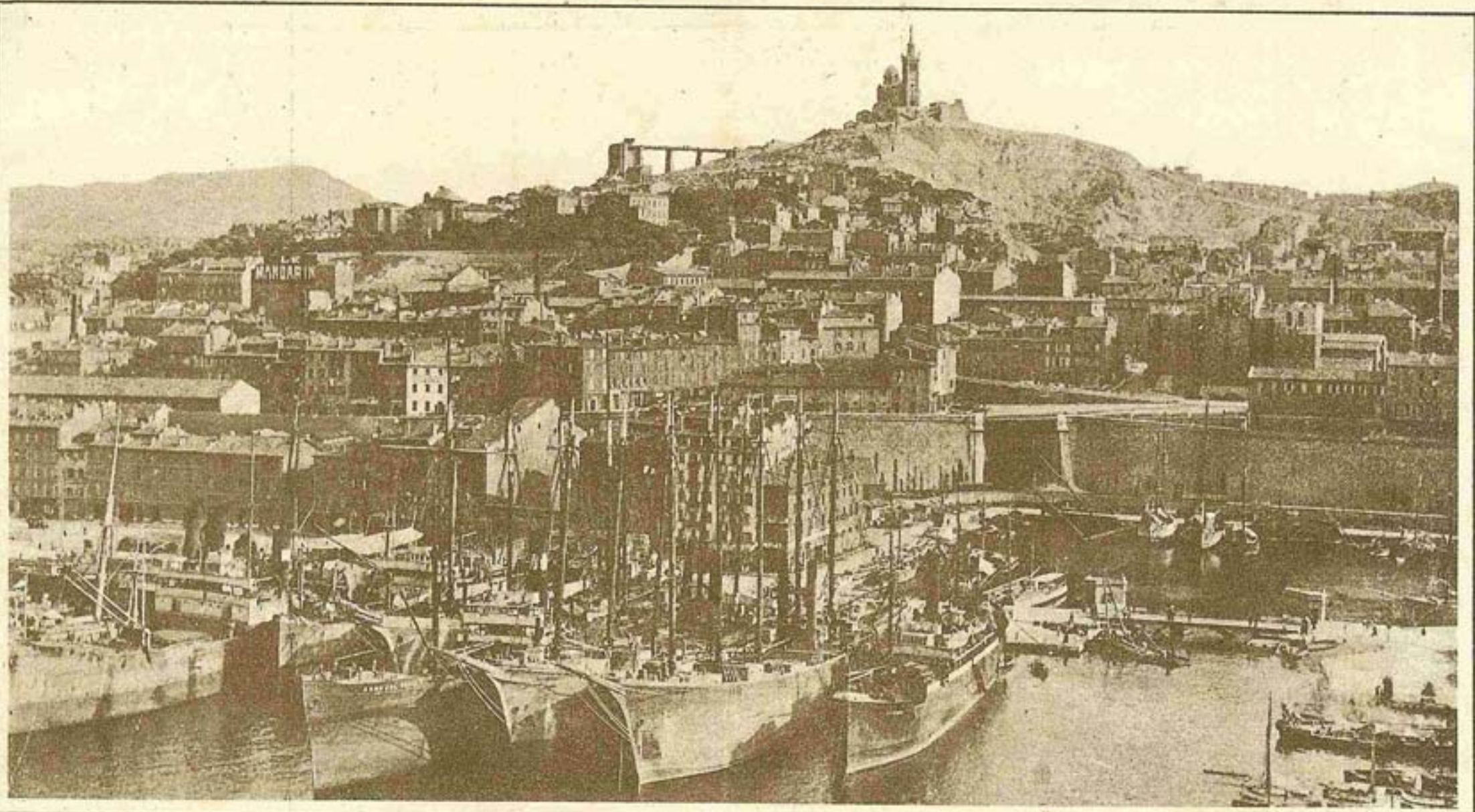
Anversois, Antwerp, Belgium.

紐育支店 (Yusenkaï) Maritime Bldg., No. 8 & 10 H

New York, U. S. A.

シヤトル支店 (Nippon) 1st Avenue at Columbia, Seattle,

(括弧内の文字は歐文電報宛名)



馬 耳 塞 港

歐洲航路案内

使 用 船

箱根丸	一〇、四二〇噸	香取丸	九、八四九噸
榛名丸	一〇、四二一噸	鹿島丸	九、九〇八噸
宮崎丸	一〇、四一三噸	賀茂丸	七、九五五噸
白山丸	一〇、三八〇噸	熱田丸	七、九八三噸
伏見丸	一〇、九三六噸	北野丸	七、九五二噸
諏訪丸	一〇、六七二噸		

寄 港 地

横濱、神戸、門司、上海、香港
新嘉坡、馬拉加、彼南、古倫母、蘇西
坡西土、馬耳塞、倫敦、安土府

(復航彼南、馬拉加、門司の寄港を省く)

本航路は二週一回横濱を出帆して上記の各寄港地を経て倫敦及び安土府に到るものであります。船は悉く八千噸以上の双螺旋大汽船で、速力の快捷、構造の堅牢、設備の最新なるは素より客室、食堂、談話室、診察室、酒保、浴室、理髮室、電燈、電扇、暖房器、製氷器、冷蔵庫、消火器等船客の安全と愉快の爲め最も進歩した設備一として備はらぬものはありません。無論無線電信の備付もあつて常に陸上と通信する事も出来ます。

船内には和洋の書籍、樂器、蓄音器、碁、將棋其他の運動遊戯器具を備付け、甲板には籐の眩掛椅子や長椅子を配置して船客の使用に供します。

廣い甲板の長椅子に横臥して煙波浩蕩水天一色の景を眺めたり或は讀書に耽つたりするのは海上旅行ををいて他に得られない愉快であります。

又熱帯航海中は上甲板に清鮮なる海水を湛えて一大遊泳場を設け長途航海中船客の無聊を慰めます。

船の食事には其の調理に注意を拂つて永年歐洲一流のホテルで研究して來た教師數名を置き熟練な料理人を養成して出來得る限り船客の御満足を買ふに努めて居ります。殊に常に食卓を飾る熱帯各地の珍らしい果物は船客により非常に珍重されます。

乗組員は船長以下技倆、經驗共に充分備はつた者で、尙乗組醫師は無料で診察に従事致しますし、理髮人、洗濯人等も居つて船客の需要に應じ、給仕、女給仕など親切に御世話致しますから不自由な事は少しも御座いません。